

令和6年度岡山県3R等WEB調査報告書

岡山県

令和7年3月

目 次

I 調査概要	1
1. 調査方法	1
2. 回答者属性	1
3. 調査実施期間	1
II 調査結果	2
1. マイバッグについて	2
2. 海ごみ問題について	7
3. プラスチックごみについて	23
4. 食品ロス問題について	32
5. 環境配慮商品について	45

I 調査概要

1. 調査方法

インターネットモニターを利用したWEBアンケート調査

2. 回答者属性

- ・本調査対象:1,300 サンプル
- ・岡山県内の地域に居住する 15-79 歳の男女
- ・地域区分は、次の単位とする。

- ①都市部(岡山市、倉敷市)
- ②沿岸部(玉野市、笠岡市、備前市、瀬戸内市、浅口市)
- ③内陸部(上記以外岡山県内 20 市町村)

・割付:各地域区分ごとに概ね男女 200 ずつとなるように割付を行った。

回答者属性詳細

(1)性別

	男性	女性	合計
回答数(人)	660	640	1,300
割 合(%)	50.8	49.2	100.0

(2)年代別

	10-20 代	30 代	40 代	50 代	60 代以上	合計
回答数(人)	152	240	289	323	296	1,300
割 合(%)	11.7	18.5	22.2	24.8	22.8	100.0

(3)地域別

	都市部	沿岸部	内陸部	合計
回答数(人)	477	373	450	1,300
割 合(%)	36.7	28.7	34.6	100.0

3. 調査実施期間

令和7年2月14日(金)～2月23 日(日)

(備考)合計数値は、四捨五入の関係で、図表中の数値の合計と一致しない場合がある。

II 調査結果

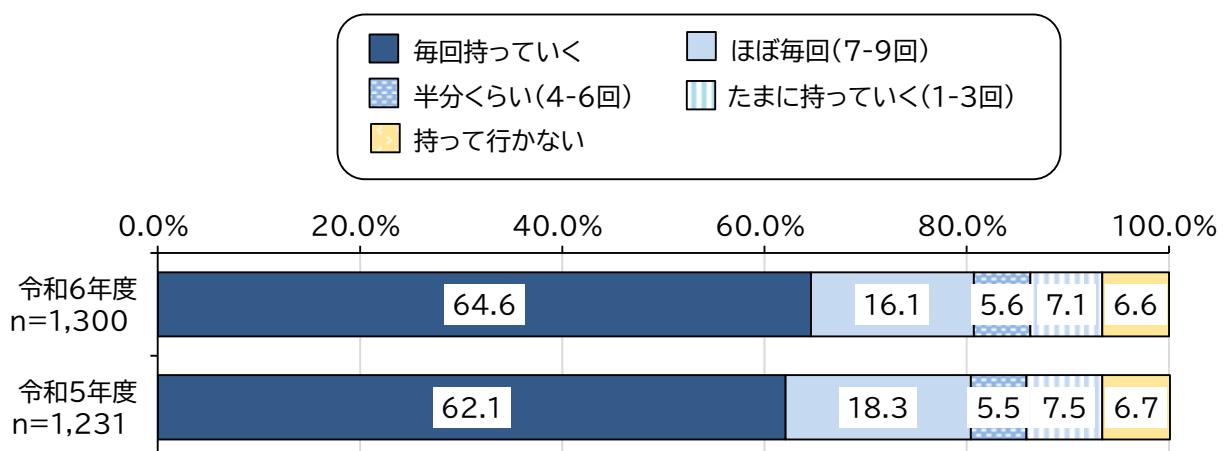
1. マイバッグについて

問1. あなたは、買い物のときに、どのくらいの回数マイバッグを持ってお店に行きますか。

(買い物 10 回のうち、マイバッグを持って行く回数)

買い物のときにマイバッグを持っていく回数について、「毎回持っていく」と回答した人の割合が 64.6% と最も高く、次いで「ほぼ毎回(7-9 回)」(16.1%)、「たまに持っていく(1-3 回)」(7.1%)などの順となっており、全体平均回数では 10 回中 8.22 回(令和 5 年度: 8.14 回)という結果となった。

●令和 4 年度は調査なし

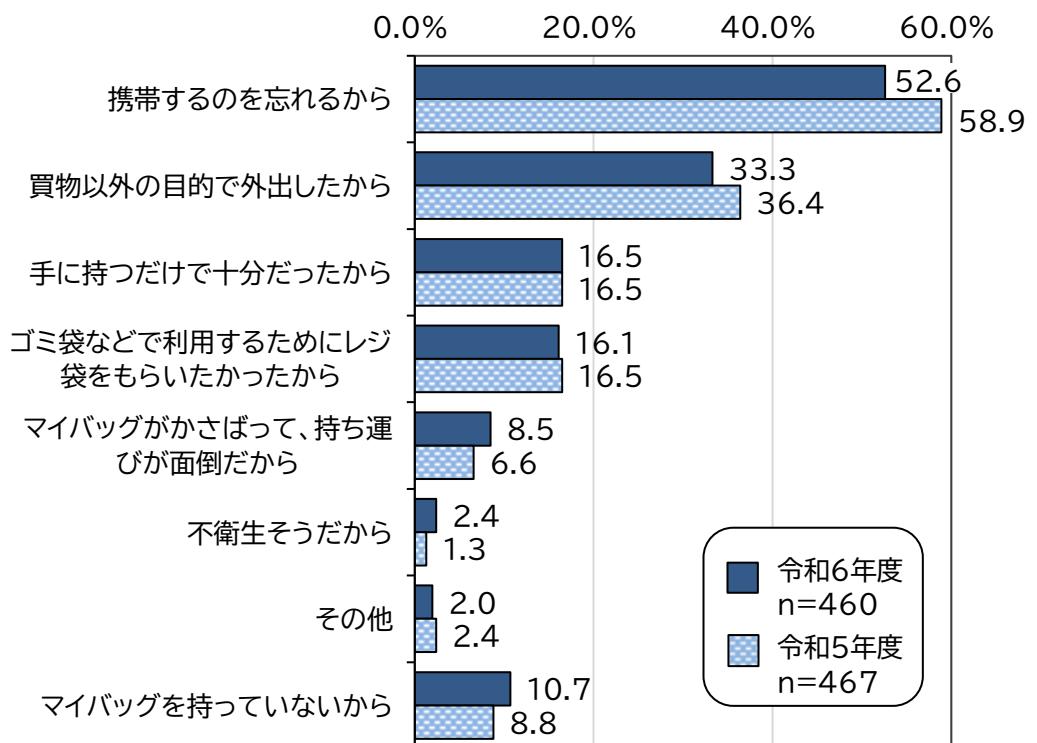


問2. マイバッグを持って行かない(行けない)時の理由をすべてお選びください。(複数回答)

※n=問1で「買い物10回のうち、マイバッグを持って行く回数9回以下」と回答した人

買い物のときにマイバッグを持って行かない(行けない)時の理由について、「携帯するのを忘れるから」と回答した人の割合が 52.6%と最も高く、次いで「買物以外の目的で外出したから」(33.3%)が続いている。

●令和4年度は調査なし

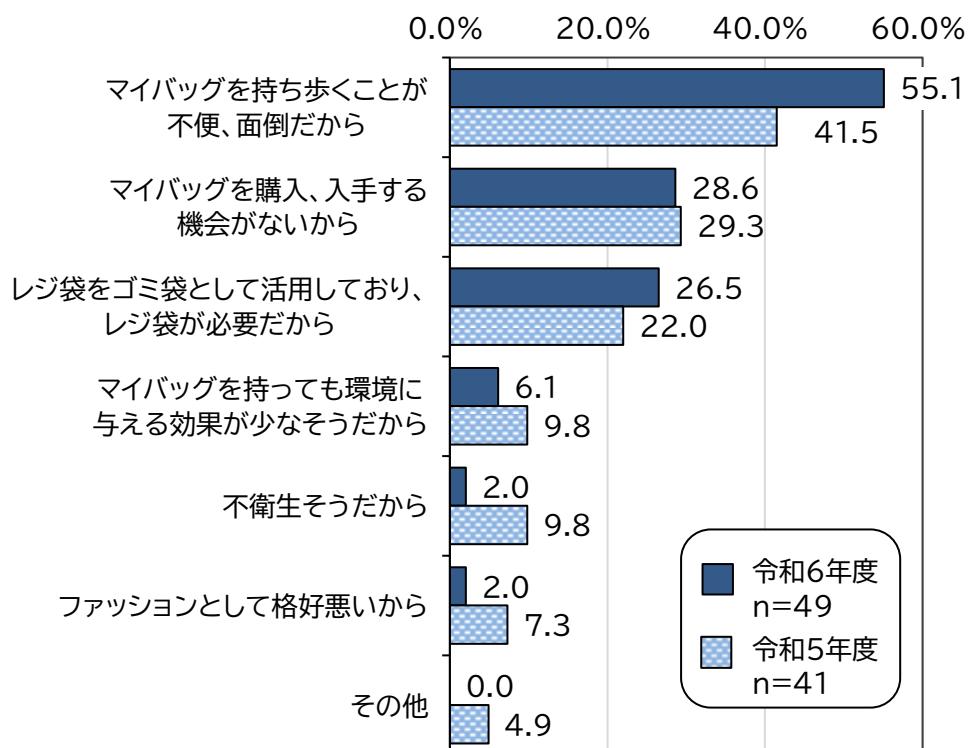


問3.マイバッグをお持ちでない理由をすべてお選びください。(複数回答)

※n=問2で「マイバッグを持っていないから」と回答した人

マイバッグを持っていない理由について、「マイバッグを持ち歩くことが不便、面倒だから」と回答した人の割合が 55.1%と最も高く、次いで「マイバッグを購入、入手する機会がないから」(28.6%)、「レジ袋をゴミ袋として活用しており、レジ袋が必要だから」(26.5%)などの順となっている。

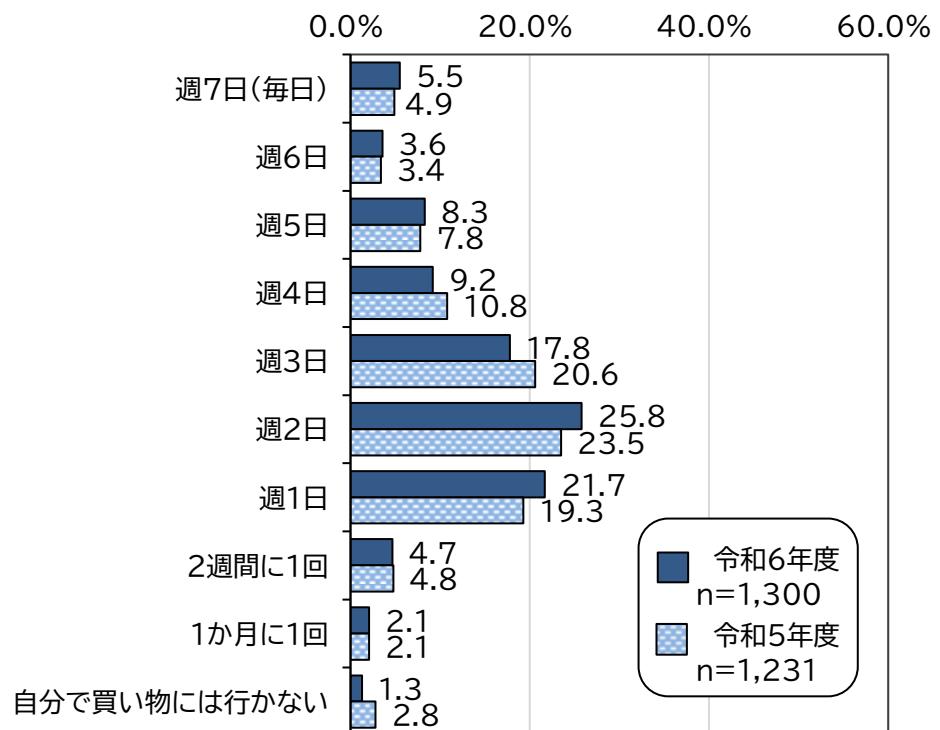
●令和4年度は調査なし



問4. あなたは普段、どれくらいの頻度で買い物に行きますか。(単数回答)

買い物に行く頻度について、「週2日」と回答した人の割合が 25.8%と最も高く、次いで「週1日」(21.7%)、「週3日」(17.8%)などの順となっている。

●令和4年度は調査なし



問5. あなたは買い物に行くときにレジ袋を購入しますか。

1回の買い物のうちに購入する平均枚数でお答えください。

※n=問4で「自分で買い物に行かない」と回答した人は除く

1回の買い物でレジ袋を1枚購入する人は 26.3%、レジ袋を購入していない人(0枚)は 73.7% となっている。

また、レジ袋購入枚数をマイバッグ買物持回数別でみると、マイバッグを持っていく回数が多いほど、レジ袋を購入していない人の割合が高くなっている。

さらに、レジ袋年間購入枚数について、マイバッグ買物持回数別でみると、マイバッグを持っていく回数が多いほど、レジ袋の購入枚数が少なくなっている。

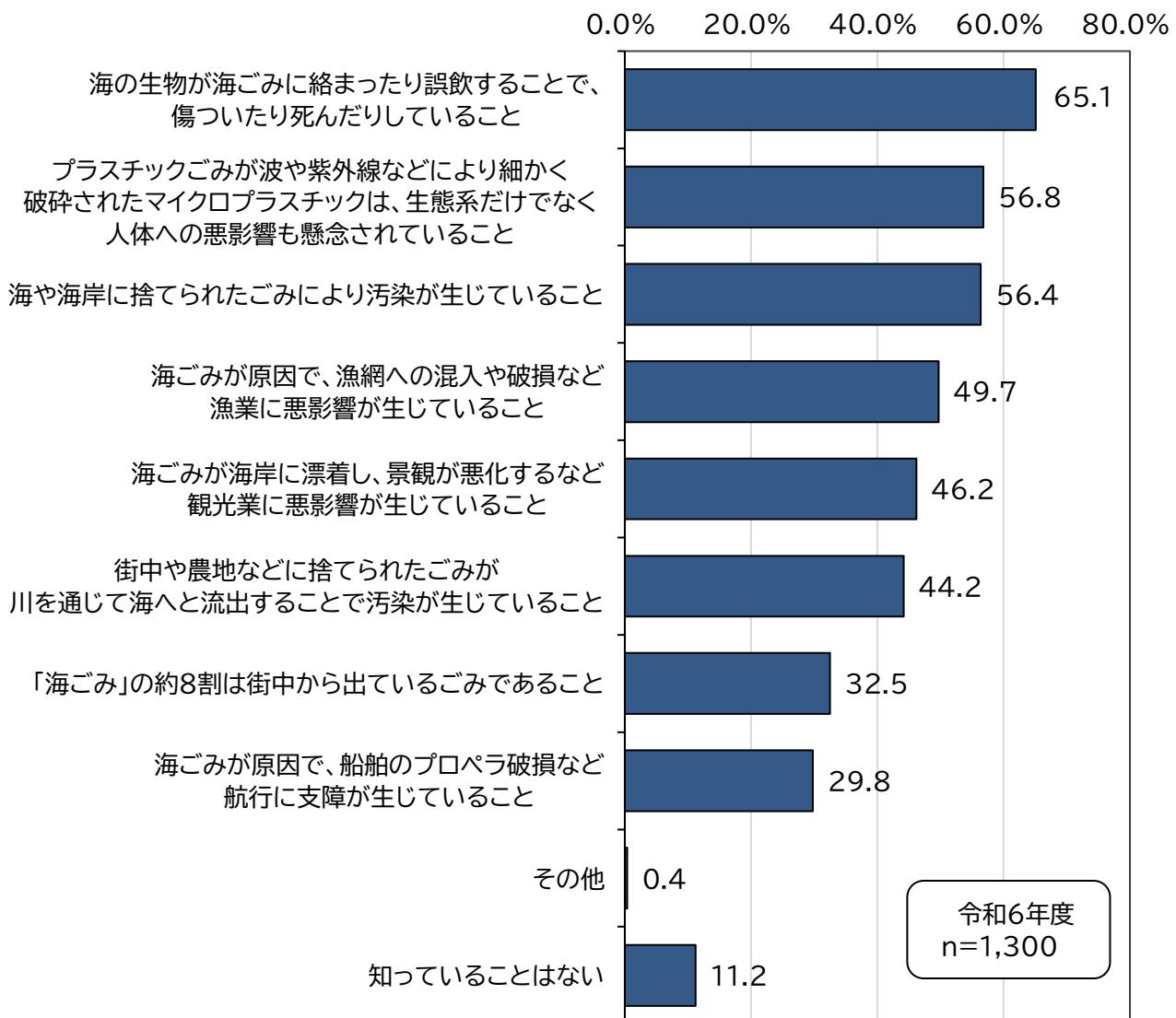
買物持回数	マイバッグ	マイバッグを買い物に持つて行く回数×レジ袋購入枚数・年間消費枚数		
		年間消費		平均
		レジ袋購入枚数 (%)	枚数 (枚)	
		n	1 枚 購入	0 枚
令和5年度全体	(1,196)	27.7	72.3	51
令和6年度全体	(1,283)	26.3	73.7	58
毎回持つていく	(833)	5.6	94.4	16
10回中7-9回	(209)	56.9	43.1	121
10回中4-6回	(73)	78.1	21.9	148
10回中1-3回	(91)	68.1	31.9	137
持つていかない	(77)	68.8	31.2	164

※年間購入枚数は、問4 買い物に行く頻度を年間日数に変換し、それにレジ袋購入枚数を乗じたもの

2. 海ごみ問題について

問6. あなたは海ごみ問題について、どのようなことを知っていますか。(複数回答)

海ごみ問題に関して知っていることについて、「海の生物が海ごみに絡まつたり誤飲することで、傷ついたり死んだりしていること」と回答した人の割合が 65.1%と最も高く、次いで「プラスチックごみが波や紫外線などにより細かく破碎されたマイクロプラスチックは、生態系だけでなく人体への悪影響も懸念されていること」(56.8%)、「海や海岸に捨てられたごみにより汚染が生じていること」(56.4%)などの順となっている。

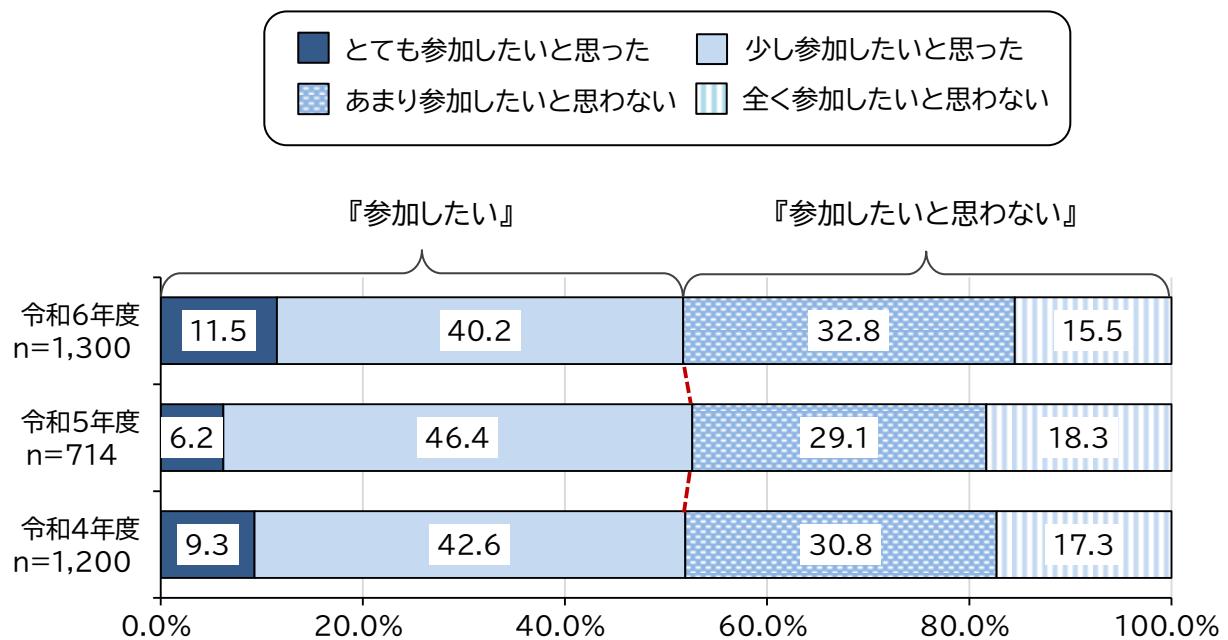


地域別にみると、「プラスチックごみが波や紫外線などにより細かく破碎されたマイクロプラスチックは、生態系だけでなく人体への悪影響も懸念されていること」、「海ごみが海岸に漂着し、景観が悪化するなど観光業に悪影響が生じていること」と回答した人の割合は都市部と沿岸部では 10 ポイント程度の差があった。

全 体		問6 海ごみ問題に関して知っていること								
		海の生物が海ごみに絡まつたり誤飲することで、傷ついたり死んだりしていること	プラスチックごみが波や紫外線などにより細かく破碎されたマイクロプラスチックは、生態系だけでなく人体への悪影響も懸念されていること	海や海岸に捨てられたごみにより汚染が生じていること	海ごみが原因で、漁網への混入や破損など漁業に悪影響が生じていること	海ごみが海岸に漂着し、景観が悪化するなど観光業に悪影響が生じていること	街中や農地などに捨てられたごみが川を通じて海へと流出することで汚染が生じていること	「海ごみ」の約8割は街中から出ているごみであること	海ごみが原因で、船舶のプロペラ破損など航行に支障が生じていること	
全 体		1,300	846	738	733	646	600	575	423	387
		100.0	65.1	56.8	56.4	49.7	46.2	44.2	32.5	29.8
都市部		477	284	241	254	225	194	188	143	129
		100.0	59.5	50.5	53.2	47.2	40.7	39.4	30.0	27.0
沿岸部		373	252	235	225	196	188	176	130	114
		100.0	67.6	63.0	60.3	52.5	50.4	47.2	34.9	30.6
内陸部		450	310	262	254	225	218	211	150	144
		100.0	68.9	58.2	56.4	50.0	48.4	46.9	33.3	32.0
全 体		その他		知っていることはない						
全 体		1,300	5	146						
		100.0	0.4	11.2						
都市部		477	2	67						
		100.0	0.4	14.0						
沿岸部		373	1	40						
		100.0	0.3	10.7						
内陸部		450	2	39						
		100.0	0.4	8.7						

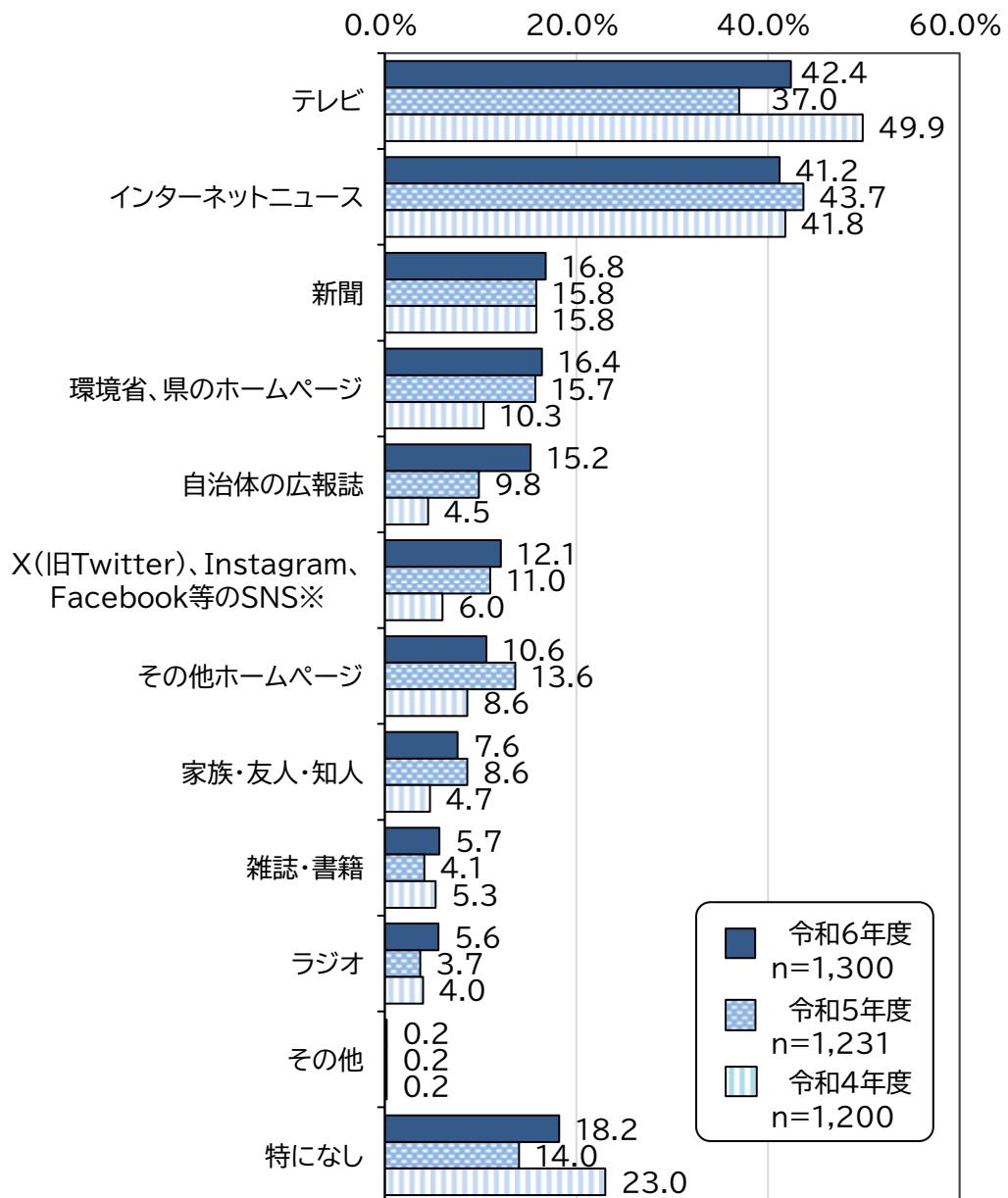
問7. 海ごみの約8割は街中から出ていると知り、あなたは今後、河川、用水路、海岸等での清掃活動に参加したいと思いましたか。(単数回答)

海ごみの約8割は街中から出ていると知り、今後、河川、用水路、海岸等での清掃活動参加意向について、『参加したい』(「とても参加したいと思った」と「少し参加したいと思った」を合わせた割合)と回答した人の割合が 51.7%、『参加したいと思わない』(「全く参加したいと思わない」と「あまり参加したいと思わない」を合わせた割合)と回答した人の割合が 48.3%となっている。



問8. あなたは海ごみ問題に関して知りたいと思ったとき、どのような媒体から情報を得ようと思っていますか。(複数回答)

海ごみ問題に関して知りたいと思ったときに情報を得ようとする媒体について、「テレビ」と回答した人の割合が42.4%と最も高く、次いで「インターネットニュース」(41.2%)が続いている。



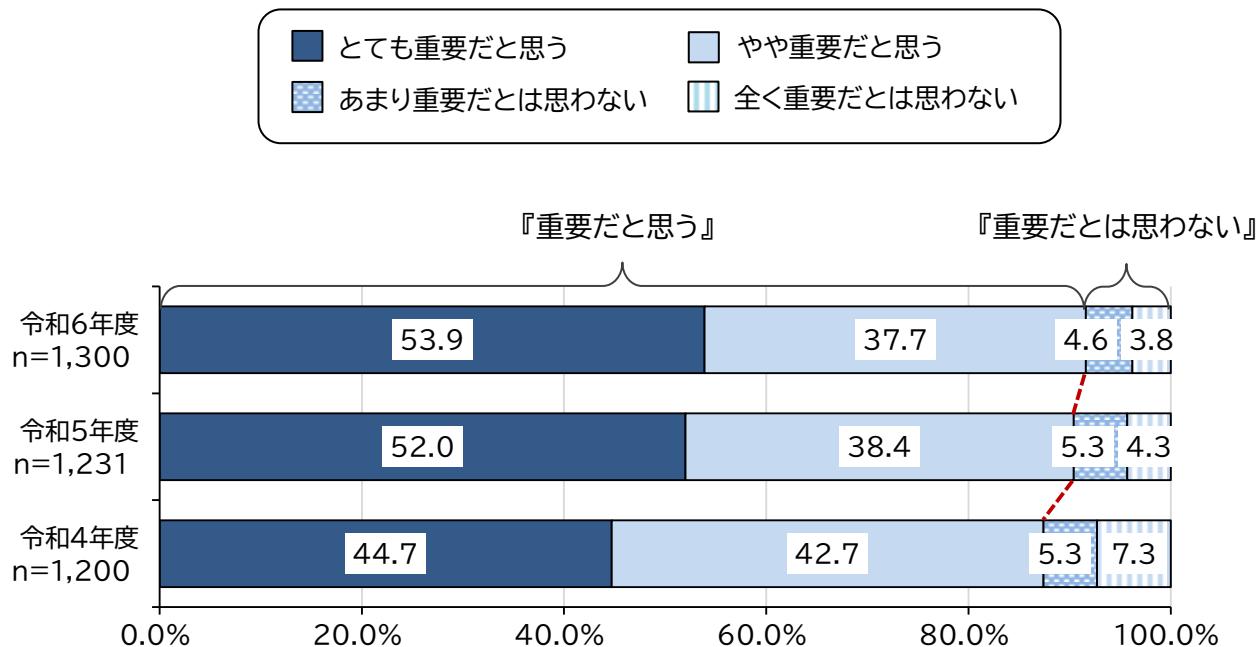
※令和4年度、令和5年度は「Twitter, Facebook 等のSNS」

地域別にみると、「テレビ」、「インターネットニュース」と回答した人の割合は都市部で3割台と他の地域に比べ低くなっている。

全体		問8 海ごみ問題に関して知りたいと思ったときに情報を得ようとする媒体								
		テレビ	インターネットニュース	新聞	環境省、県のホームページ	自治体の広報誌	X (旧Twitter) ・Instagram ・Facebook等のSNS	その他ホームページ	家族・友人・知人	
全体		1,300 100.0	551 42.4	535 41.2	219 16.8	213 16.4	197 15.2	157 12.1	138 10.6	99 7.6
都市部		477 100.0	170 35.6	167 35.0	66 13.8	90 18.9	70 14.7	59 12.4	60 12.6	35 7.3
沿岸部		373 100.0	172 46.1	172 46.1	76 20.4	61 16.4	47 12.6	36 9.7	37 9.9	29 7.8
内陸部		450 100.0	209 46.4	196 43.6	77 17.1	62 13.8	80 17.8	62 13.8	41 9.1	35 7.8
全体										
		雑誌・書籍	ラジオ	その他	特になし					
全体		1,300 100.0	74 5.7	73 5.6	3 0.2	236 18.2				
都市部		477 100.0	24 5.0	26 5.5	0 0.0	110 23.1				
沿岸部		373 100.0	23 6.2	19 5.1	2 0.5	48 12.9				
内陸部		450 100.0	27 6.0	28 6.2	1 0.2	78 17.3				

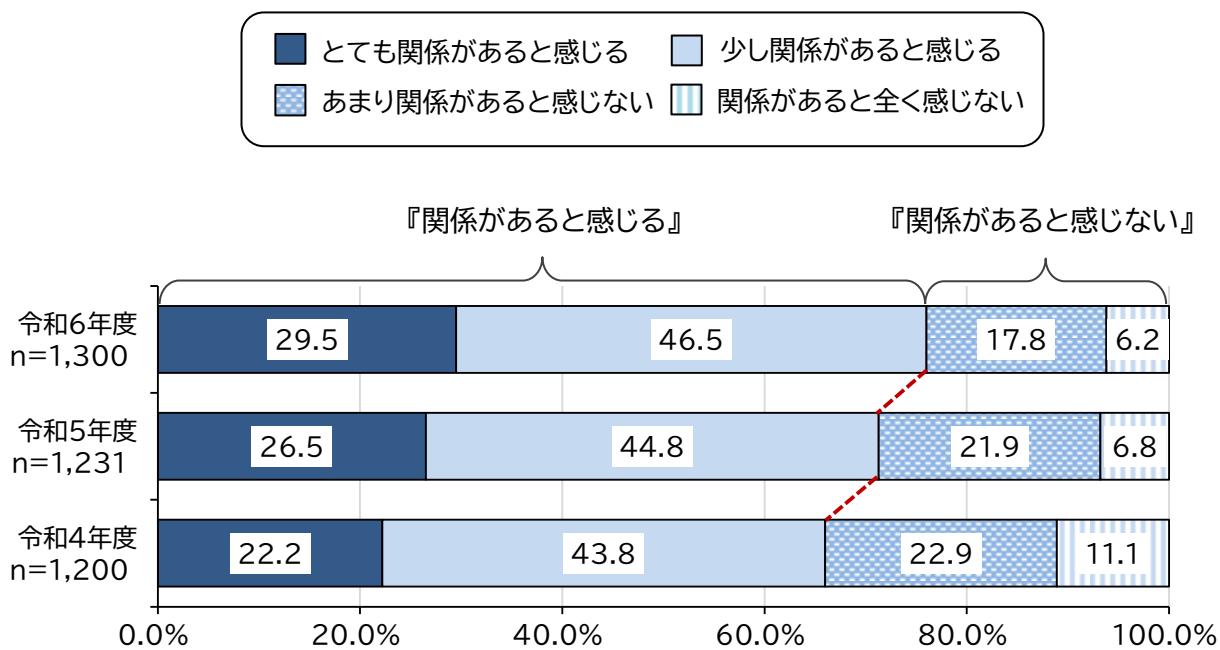
問9. あなたは、「海ごみ問題」に対処することを重要だと考えますか。(単数回答)

「海ごみ問題」に対処することの重要性について、『重要だと思う』(「とても重要だと思う」と「やや重要だと思う」を合わせた割合)と回答した人の割合が 91.6%、『重要だとは思わない』(「全く重要だとは思わない」と「あまり重要だとは思わない」を合わせた割合)と回答した人の割合が 8.4%となっており、『重要だと思う』と回答した人の割合は令和4年度調査から今回調査にかけて上昇傾向がみられる。



問10. あなたは、「海ごみ問題」について自分に関係があると感じますか。(単数回答)

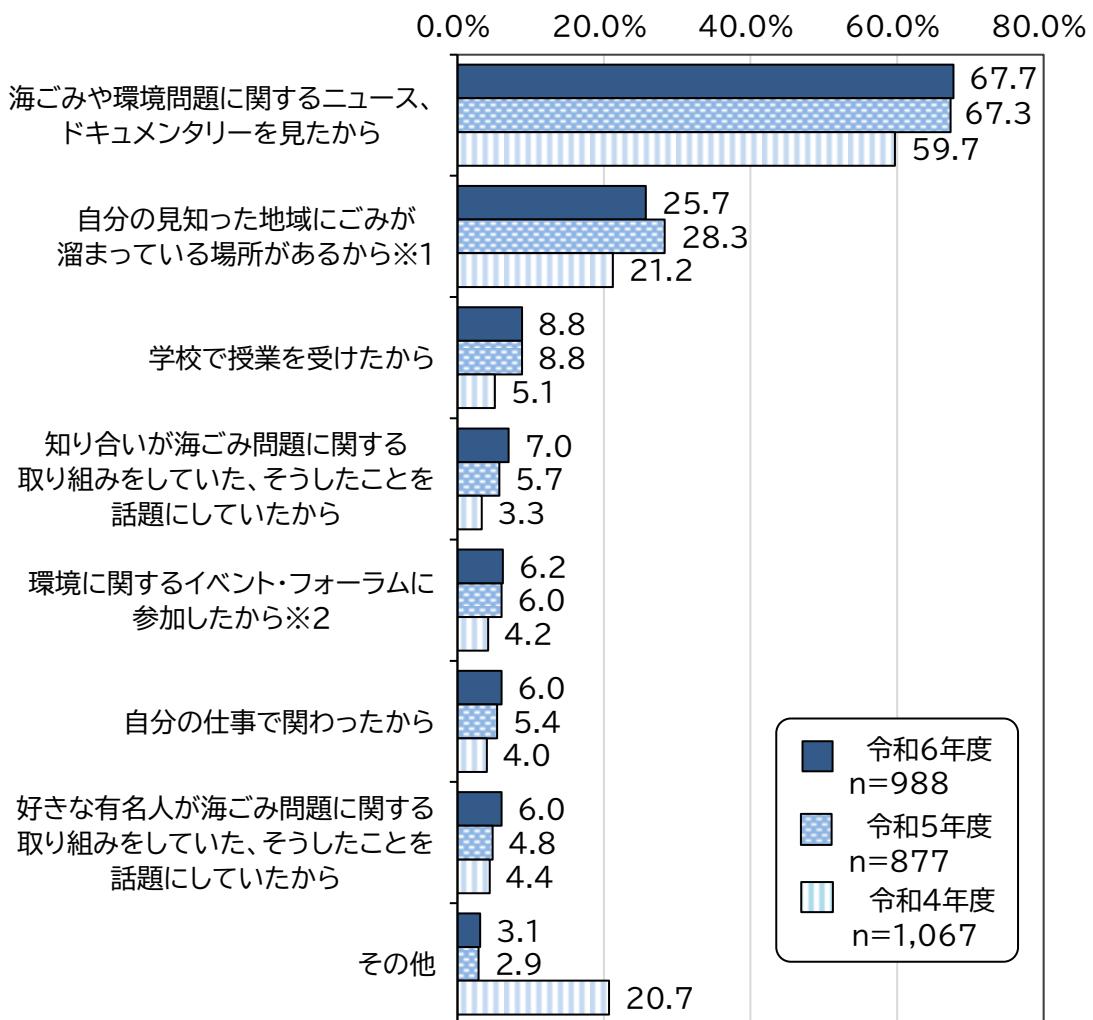
「海ごみ問題」と自分との関係性について、『関係があると感じる』(「とても関係があると感じる」と「少し関係があると感じる」を合わせた割合)と回答した人の割合が 76.0%、『関係があると感じない』(「関係があると全く感じない」と「あまり関係があると感じない」を合わせた割合)と回答した人の割合が 24.0%となっており、『関係があると感じる』と回答した人の割合は令和4年度調査から今回調査にかけて上昇傾向がみられる。



問11.「海ごみ問題」について自分が関係があると思ったきっかけを下記の中から当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

※n=問10で『関係があると感じる』と回答した人

「海ごみ問題」が自分に関係があると思ったきっかけについて、「海ごみや環境問題に関するニュース、ドキュメンタリーを見たから」と回答した人の割合が67.7%と最も高く、次いで「自分の見知った地域にごみが溜まっている場所があるから」(25.7%)が続いている。



※1 令和4年度は、「自分の見知った地域が汚染されていると知ったから」

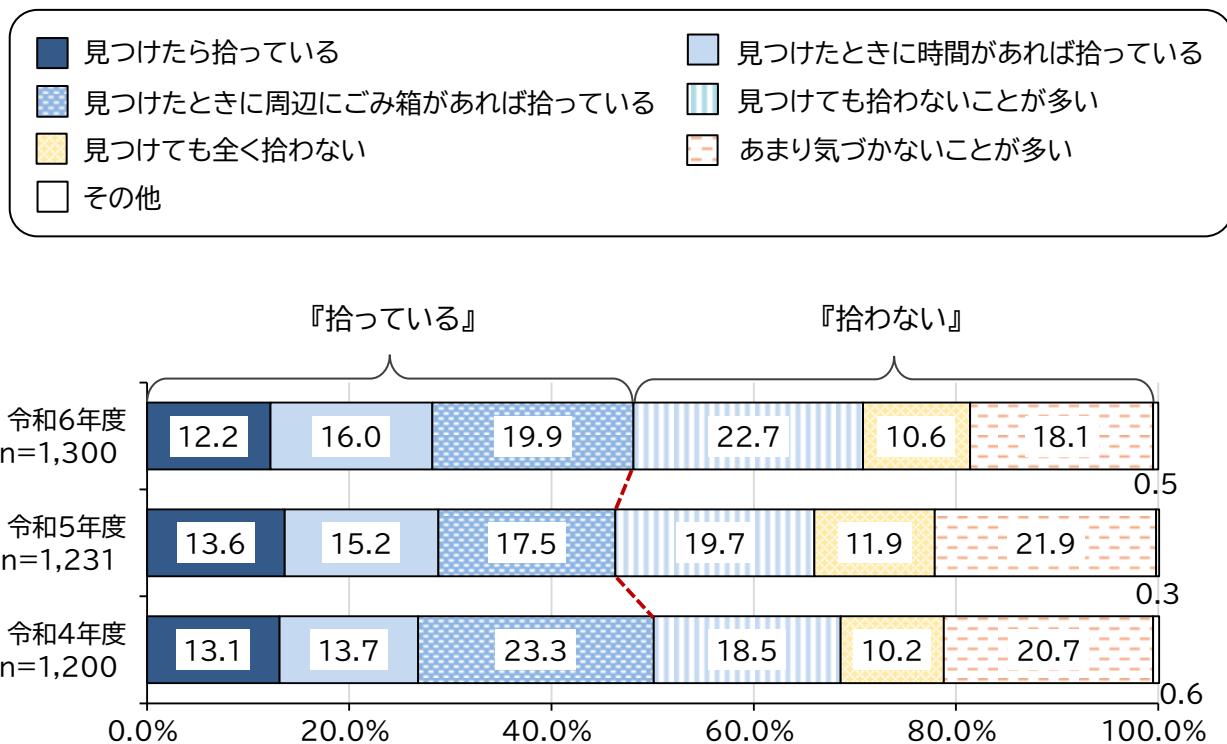
※2 令和4年度は、「環境に関するイベント・フォーラムに参加したこと」

地域別にみると、「海ごみや環境問題に関するニュース、ドキュメンタリーを見たから」と回答した人の割合は内陸部で7割台、「自分の見知った地域にごみが溜まっている場所があるから」と回答した人の割合は沿岸部で3割台と他の地域に比べ高くなっている。

全 体	問11 「海ごみ問題」が自分に関係があると思ったきっかけ								その他
	海ごみや環 境問題に関 するニュー ス、ドキュ メンタリー を見たから	自分の見 知った地域 にごみが溜 まっている 場所がある から	学校で 授業を受け たから	知り合いが 海ごみ問題 に関する取 り組みをし ていた、そ うしたこと を話題にし ていたから	環境に関す るイベン ト・フォー ラムに参加 したから	自分の仕事 で関わった から	好きな有名 人が海ごみ 問題に関す る取り組み をしてい た、そうし たことを話 題にしてい たから		
全 体	988 100.0	669 67.7	254 25.7	87 8.8	69 7.0	61 6.2	59 6.0	59 6.0	31 3.1
都市部	351 100.0	222 63.2	89 25.4	46 13.1	22 6.3	29 8.3	22 6.3	30 8.5	6 1.7
沿岸部	284 100.0	190 66.9	100 35.2	15 5.3	23 8.1	11 3.9	22 7.7	16 5.6	7 2.5
内陸部	353 100.0	257 72.8	65 18.4	26 7.4	24 6.8	21 5.9	15 4.2	13 3.7	18 5.1

問12. 街中や河川敷などのごみについて、あなたの行動に最も当てはまるものをお答えください。
(清掃活動以外)(単数回答)

街中や河川敷などのごみについて、『拾っている』(「見つけたら拾っている」、「見つけたときに時間があれば拾っている」、「見つけたときに周辺にごみ箱があれば拾っている」を合わせた割合)が48.1%、『拾わない』(「見つけても全く拾わない」と「見つけても拾わないことが多い」を合わせた割合)が33.3%となっている。

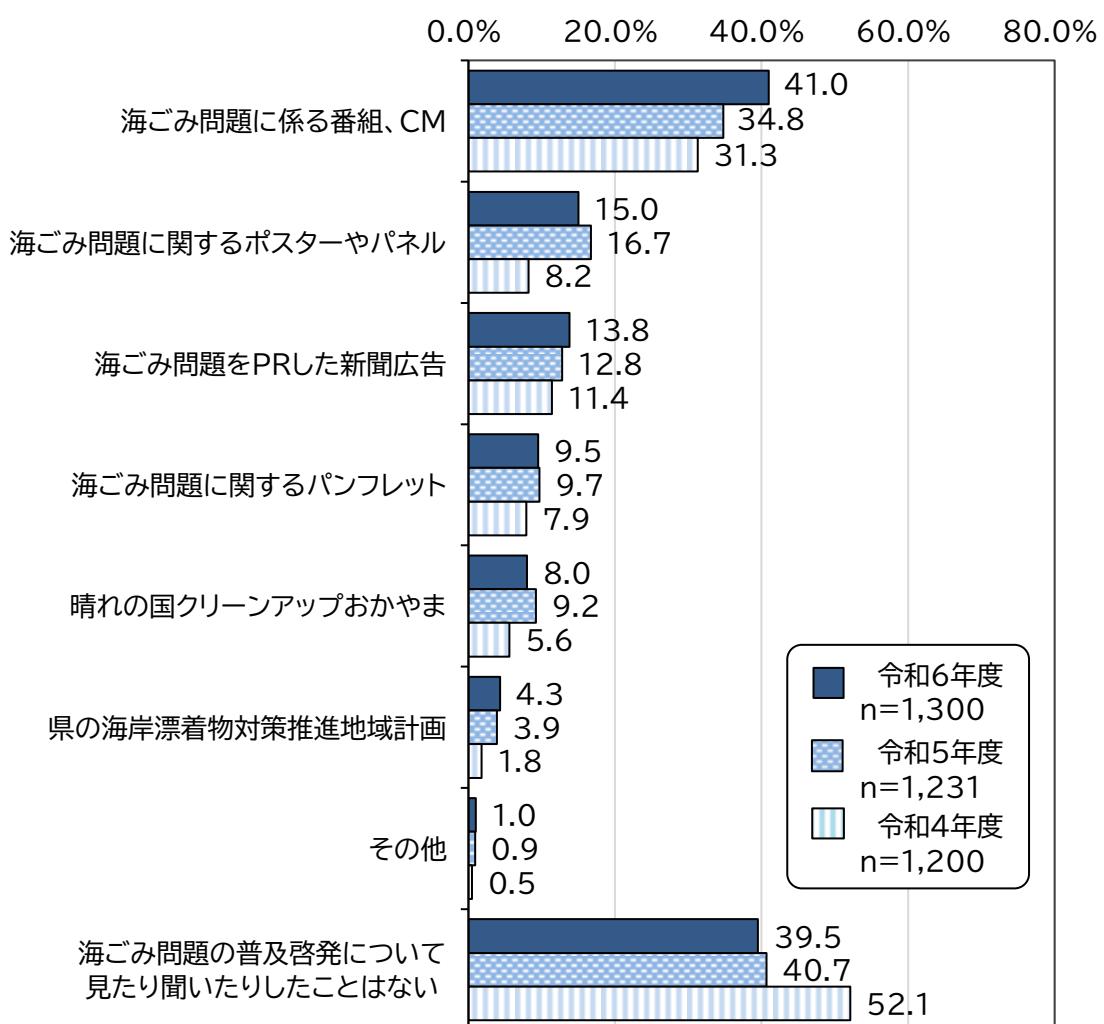


問13. あなたは、次の海ごみ問題の普及啓発について見たり聞いたりしたことはありますか。

(複数回答)

海ごみ問題の普及啓発に関して見聞きしたことがあることについて、「海ごみ問題に係る番組、CM」と回答した人の割合が41.0%と最も高く、次いで「海ごみ問題に関するポスターやパネル」(15.0%)、「海ごみ問題をPRした新聞広告」(13.8%)などの順となっている。

経年比較でみると、「海ごみ問題に係る番組、CM」と回答した人の割合は令和4年度調査から今回調査にかけて上昇傾向がみられる。



地域別にみると、「海ごみ問題に係る番組、CM」と回答した人の割合は都市部は他の地域に比べ低い。また、「海ごみ問題の普及啓発について見たり聞いたりしたことはない」と回答した人の割合は都市部で4割台後半と他の地域に比べ高くなっている。

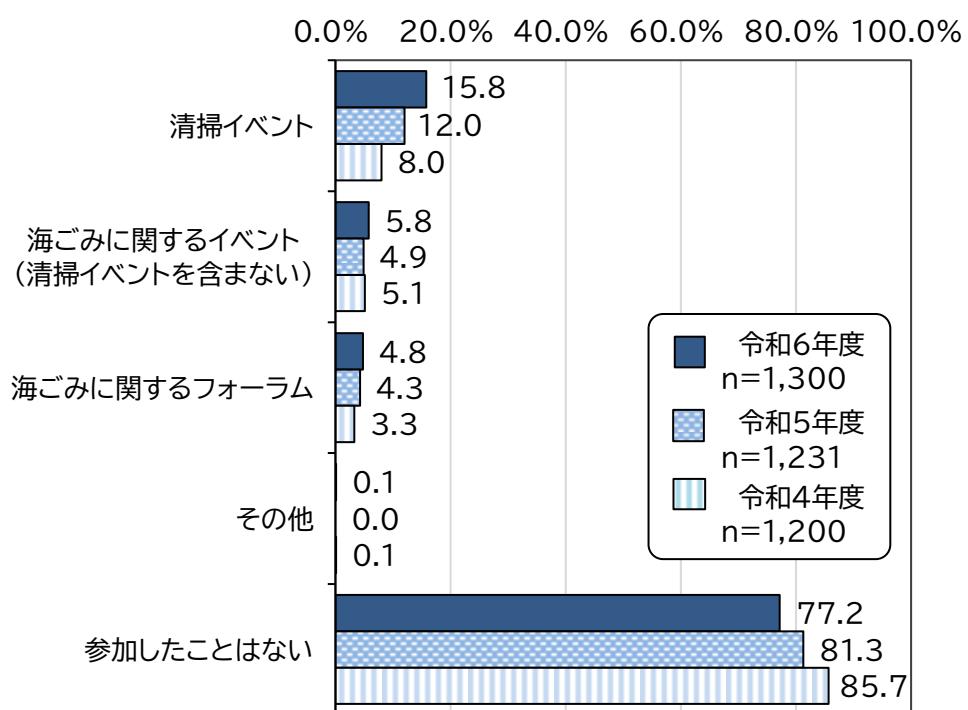
全 体	問13 海ごみ問題の普及啓発に関して見聞きしたことがあること								
	海ごみ問題に係る番組、CM	海ごみ問題に関するポスターやパネル	海ごみ問題をPRした新聞広告	海ごみ問題に関するパンフレット	晴れの国クリーンアップおかやま	県の海岸漂着物対策推進地域計画	その他	海ごみ問題の普及啓発について見たり聞いたりしたことはない	
全 体	1,300 100.0	533 41.0	195 15.0	179 13.8	124 9.5	104 8.0	56 4.3	13 1.0	514 39.5
都市部	477 100.0	160 33.5	66 13.8	57 11.9	43 9.0	36 7.5	23 4.8	3 0.6	230 48.2
沿岸部	373 100.0	172 46.1	59 15.8	51 13.7	37 9.9	32 8.6	13 3.5	3 0.8	130 34.9
内陸部	450 100.0	201 44.7	70 15.6	71 15.8	44 9.8	36 8.0	20 4.4	7 1.6	154 34.2

問14. あなたは、次のような海ごみ問題の普及啓発について参加したことはありますか。

(複数回答)

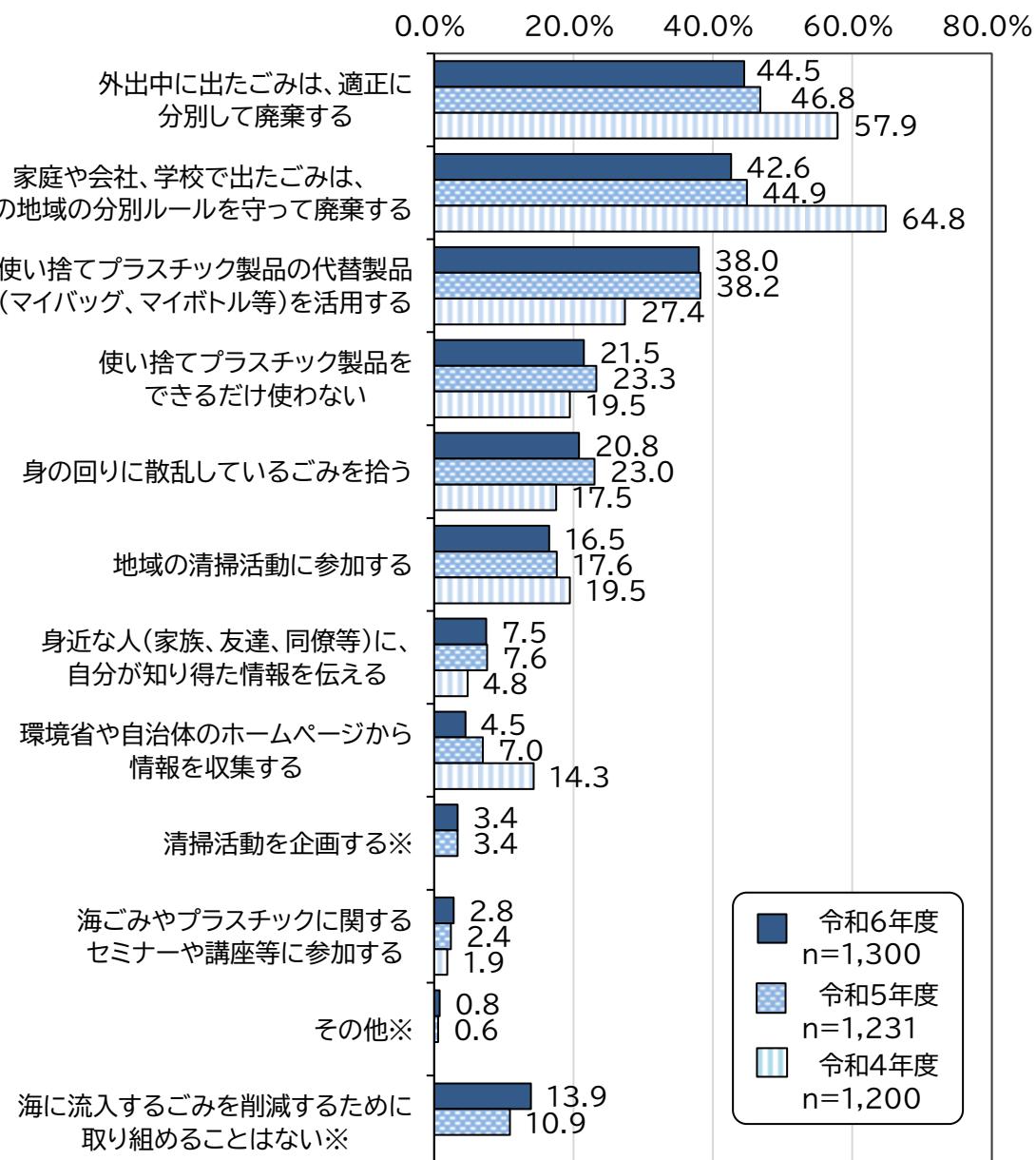
海ごみ問題の普及啓発への参加経験について、「参加したことはない」と回答した人の割合は77.2%となった。

各イベントに参加したことがある人では「清掃イベント」と回答した人の割合が15.8%と最も高くなっている。



問15. 海に流入するごみを削減するために、あなたが取り組めそうなものを3つまでお答えください。(複数回答)

海に流入するごみを削減するために取り組めそうなものについて、「外出中に出たごみは、適正に分別して廃棄する」と回答した人の割合が44.5%と最も高く、次いで「家庭や会社、学校で出たごみは、その地域の分別ルールを守って廃棄する」(42.6%)、「使い捨てプラスチック製品の代替製品(マイバッグ、マイボトル等)を活用する」(38.0%)などの順となっている。



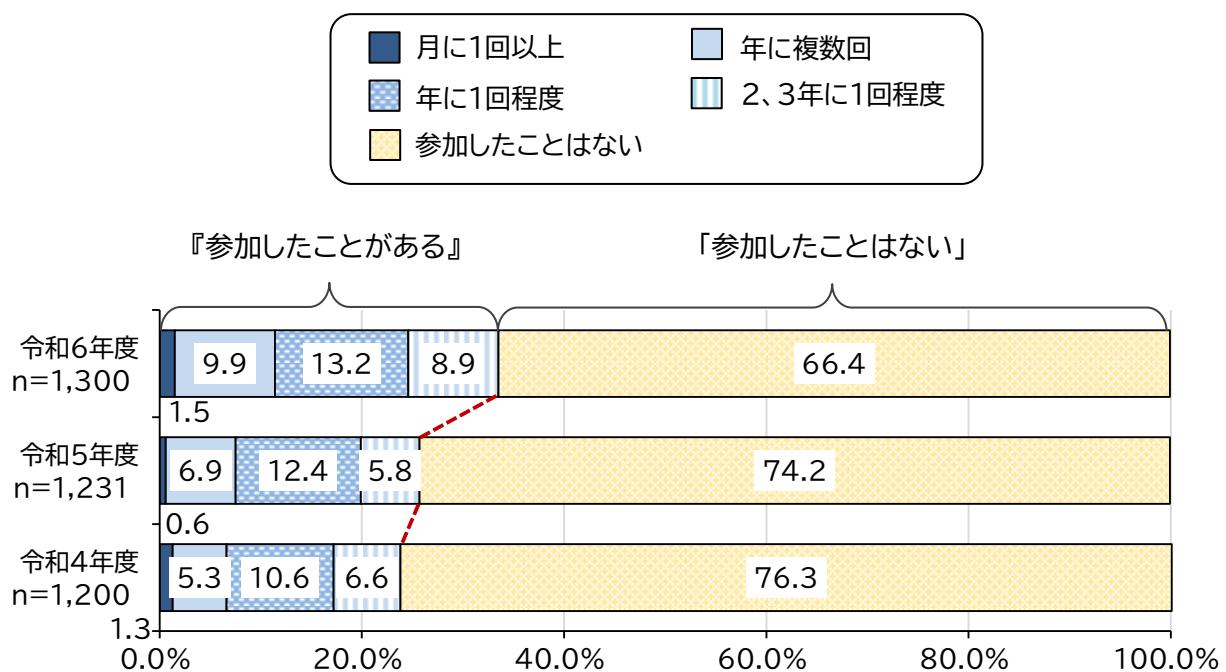
※令和4年度にはない選択肢

問16. あなたは、どの程度の頻度で河川、用水路、海岸等での清掃活動に参加していますか。

(複数回答)

河川、用水路、海岸等での清掃活動への参加頻度について、「参加したことはない」と回答した人の割合が66.4%と最も高くなっている。

一方で、清掃活動へ参加したことがある人の割合は令和4年度調査から今回調査にかけて上昇傾向がみられる。

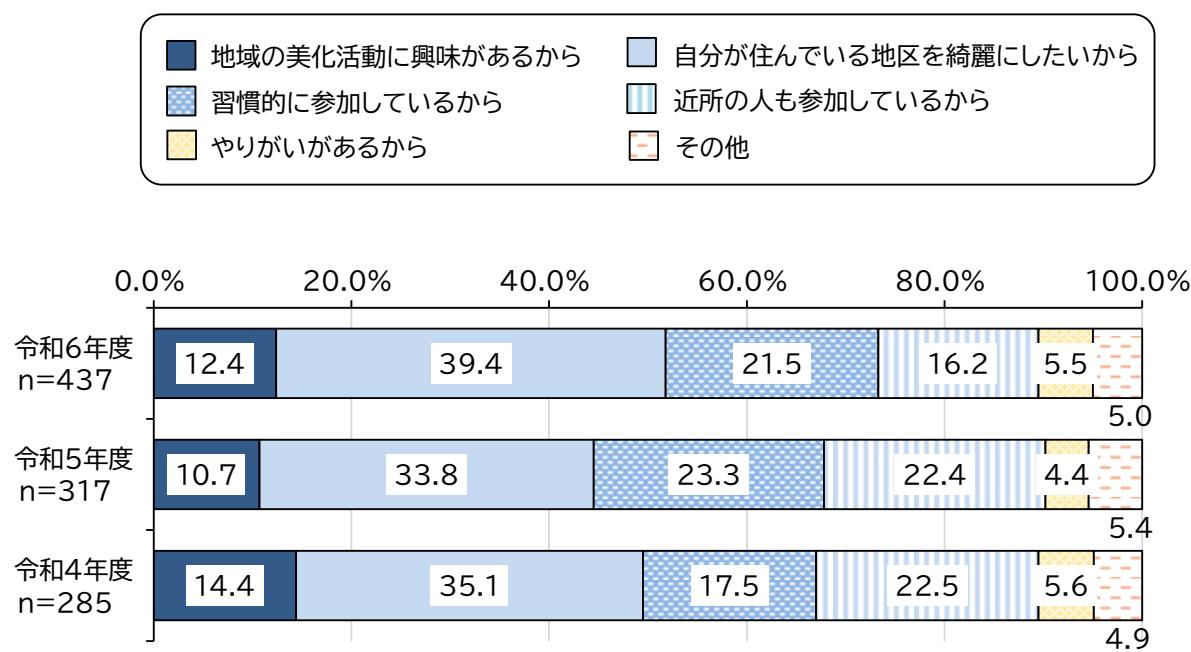


問17. あなたが清掃活動に参加する理由として最もあてはまるものをお答えください。

(単数回答)

※n=問16で『参加している』と回答した人

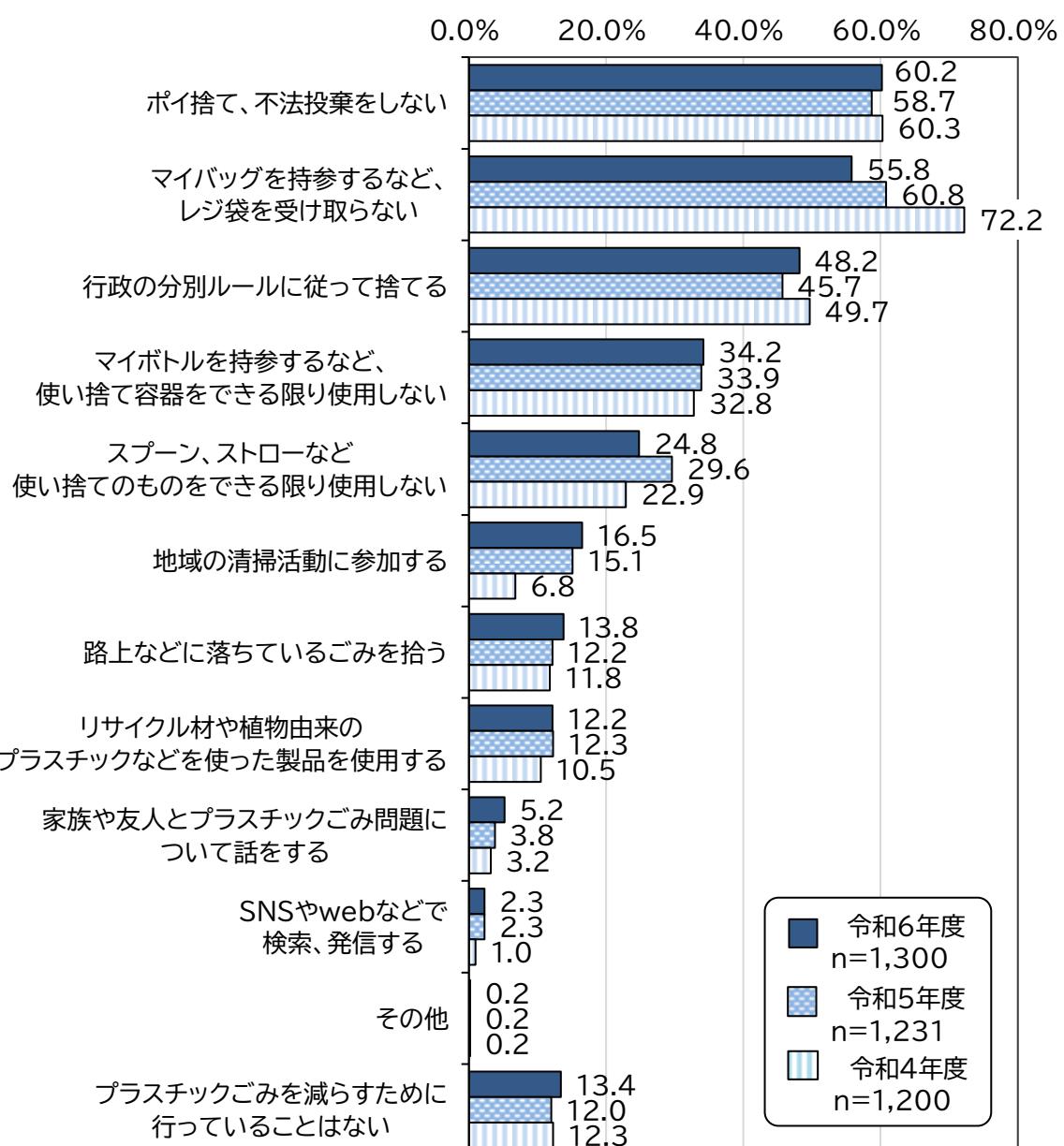
清掃活動に参加する理由について、「自分が住んでいる地区を綺麗にしたいから」と回答した人の割合が 39.4%と最も高く、次いで「習慣的に参加しているから」(21.5%)、「近所の人も参加しているから」(16.2%)などの順となっている。



3. プラスチックごみについて

問18. あなたは、プラスチックごみを減らすために、普段の生活の中で取り組んでいることはありますか。(複数回答)

プラスチックごみを減らすために、普段の生活の中で取り組んでいることについて、「ポイ捨て、不法投棄をしない」と回答した人の割合が 60.2%と最も高く、次いで「マイバッグを持参するなど、レジ袋を受け取らない」(55.8%)、「行政の分別ルールに従って捨てる」(48.2%)などの順となっている。



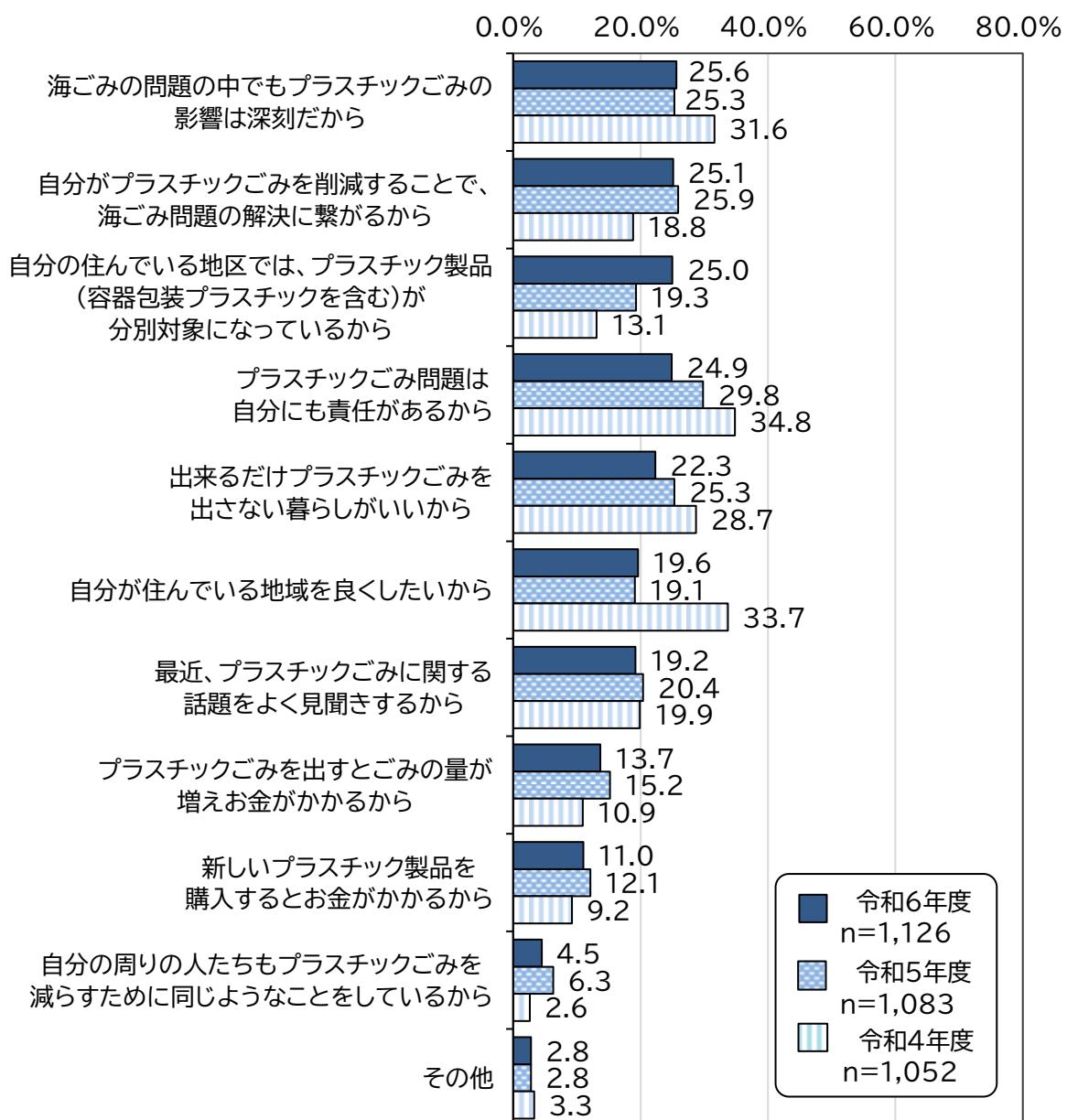
地域別にみると、「行政の分別ルールに従って捨てる」と回答した人の割合は沿岸部で5割台と他の地域に比べ高くなっている。

全体		問18 プラスチックごみを減らすために、普段の生活の中で取り組んでいること								
		ポイ捨て、不法投棄をしない	マイバッグを持参するなど、レジ袋を受け取らない	行政の分別ルールに従って捨てる	マイボトルを持参するなど、使い捨て容器ができる限り使用しない	スプーン、ストローなど使い捨ての容器ができる限り使用しない	地域の清掃活動に参加する	路上などに落ちているごみを拾う	リサイクル材や植物由来のプラスチックなどをを使った製品を使用する	
全体		1,300	783	726	626	444	323	215	180	159
		100.0	60.2	55.8	48.2	34.2	24.8	16.5	13.8	12.2
都市部		477	270	251	208	163	122	66	55	54
		100.0	56.6	52.6	43.6	34.2	25.6	13.8	11.5	11.3
沿岸部		373	240	215	200	127	87	70	55	47
		100.0	64.3	57.6	53.6	34.0	23.3	18.8	14.7	12.6
内陸部		450	273	260	218	154	114	79	70	58
		100.0	60.7	57.8	48.4	34.2	25.3	17.6	15.6	12.9
全体		取り組み方								
		家族や友人とプラスチックごみ問題について話をする	SNSやwebなどで検索、発信する	その他	プラスチックごみを減らすために行っていることはない					
全体		1,300	67	30	3	174				
		100.0	5.2	2.3	0.2	13.4				
都市部		477	32	13	2	76				
		100.0	6.7	2.7	0.4	15.9				
沿岸部		373	13	4	1	42				
		100.0	3.5	1.1	0.3	11.3				
内陸部		450	22	13	0	56				
		100.0	4.9	2.9	0.0	12.4				

問19. あなたが、前問で回答したような行動に至った理由は何ですか。当てはまるものを3つまでお答えください。(複数回答)

※n=問18でプラスチックごみを減らすために、普段の生活の中で取り組んでいることがあると回答した人

前問で回答したような行動に至った理由について、「海ごみの問題の中でもプラスチックごみの影響は深刻だから」と回答した人の割合が 25.6%と最も高く、次いで「自分がプラスチックごみを削減することで、海ごみ問題の解決に繋がるから」(25.1%)、「自分の住んでいる地区では、プラスチック製品(容器包装プラスチックを含む)が分別対象になっているから」(25.0%)、「プラスチックごみ問題は自分にも責任があるから」(24.9%)などの順となっている。

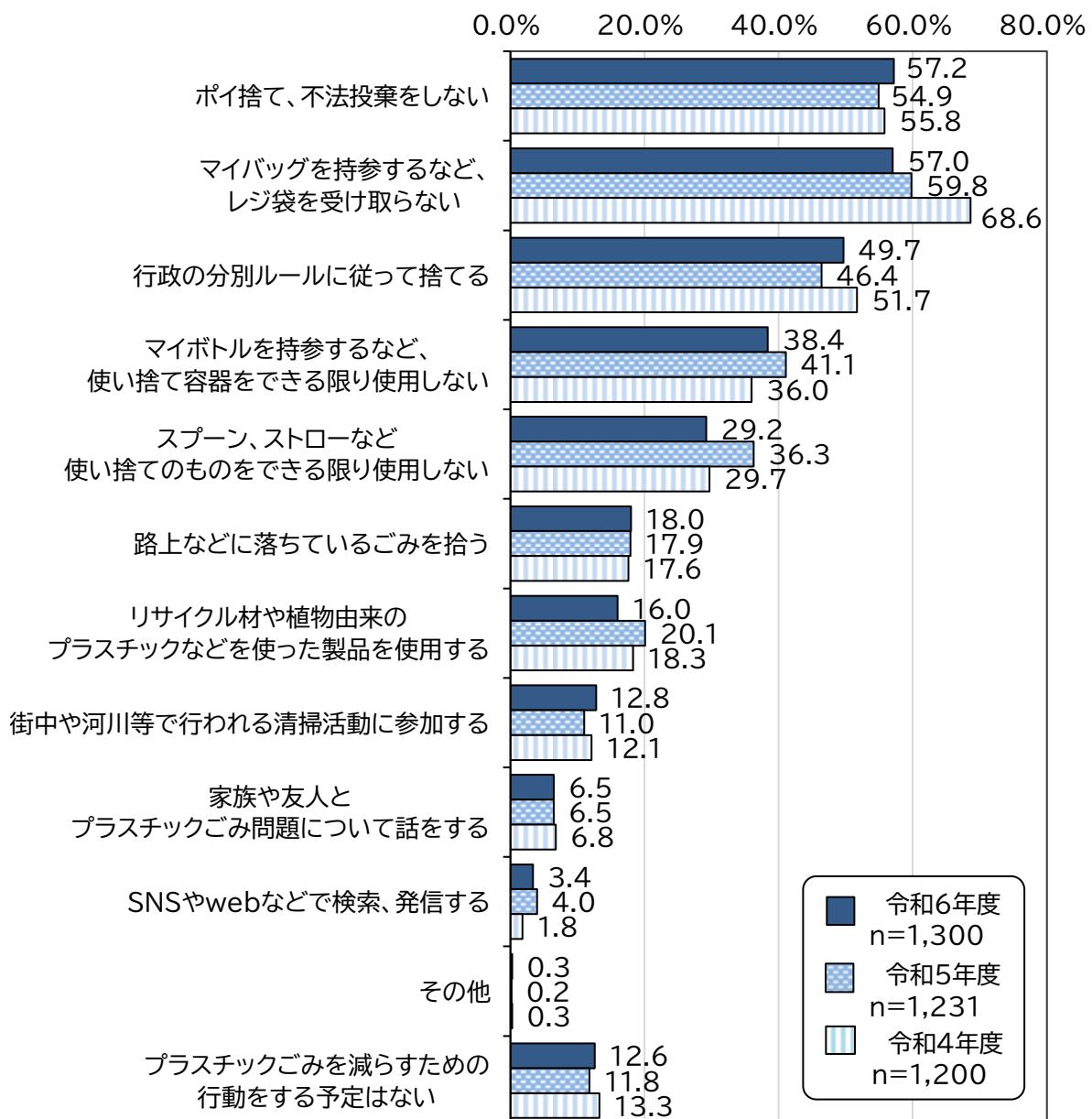


地域別にみると、「自分の住んでいる地区では、プラスチック製品(容器包装プラスチックを含む)が分別対象になっているから」と回答した人の割合は沿岸部で3割台と他の地域に比べ高くなっている。

全体		問19 前問で回答したような行動に至った理由								
		海ごみの問題の中でもプラスチックごみを削減することで、海ごみ問題の解決に繋がるから	自分がプラスチックごみを削減することで、海ごみ問題の解決に繋がるから	自分の住んでいる地区では、プラスチック製品(容器包装プラスチックを含む)が分別対象になっているから	プラスチックごみ問題は自分にも責任があるから	出来るだけプラスチックごみを出さない暮らしがいいから	自分が住んでいる地域を良くしたいから	最近、プラスチックごみに関する話題をよく見聞きするから	プラスチックごみを出すとごみの量が増えお金がかかるから	
全体		1,126	288	283	282	280	251	221	216	154
		100.0	25.6	25.1	25.0	24.9	22.3	19.6	19.2	13.7
都市部		401	98	89	87	95	94	73	71	55
		100.0	24.4	22.2	21.7	23.7	23.4	18.2	17.7	13.7
沿岸部		331	89	89	104	79	73	62	58	38
		100.0	26.9	26.9	31.4	23.9	22.1	18.7	17.5	11.5
内陸部		394	101	105	91	106	84	86	87	61
		100.0	25.6	26.6	23.1	26.9	21.3	21.8	22.1	15.5
全体		新しいプラスチック製品を購入するとお金がかかるから	自分の周りの人たちもプラスチックごみを減らすために同じようなことをしているから	その他						
全体		1,126	124	51	31					
		100.0	11.0	4.5	2.8					
都市部		401	49	26	11					
		100.0	12.2	6.5	2.7					
沿岸部		331	29	11	13					
		100.0	8.8	3.3	3.9					
内陸部		394	46	14	7					
		100.0	11.7	3.6	1.8					

問 20. あなたが普段の生活の中でプラスチックごみを減らすために今後行う予定がある、もしくは行いたいと思っていることはどれですか。(複数回答)

プラスチックごみを減らすために今後行う予定がある、もしくは行いたいと思っていることについて、「ポイ捨て、不法投棄をしない」と回答した人の割合が 57.2%と最も高く、次いで「マイバッグを持参するなど、レジ袋を受け取らない」(57.0%)、「行政の分別ルールに従って捨てる」(49.7%)などの順となっている。



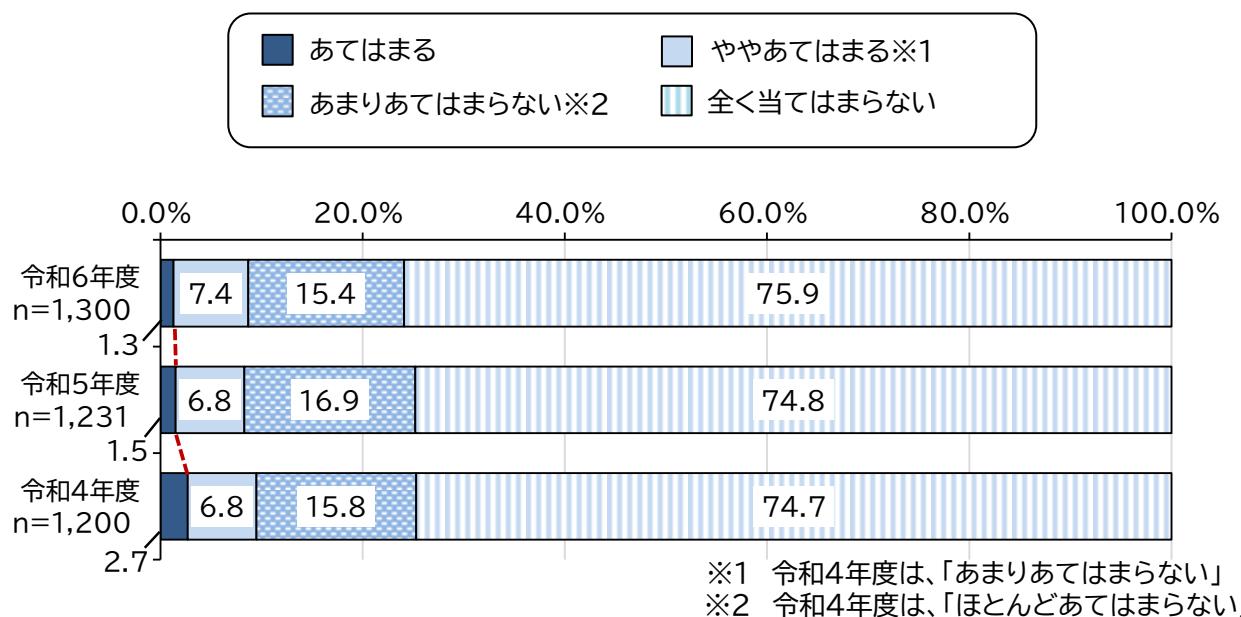
地域別にみると、「ポイ捨て、不法投棄をしない」、「マイバッグを持参するなど、レジ袋を受け取らない」と回答した人の割合は都市部で5割台前半、「行政の分別ルールに従って捨てる」と回答した人の割合は都市部で4割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

全体		問20 プラスチックごみを減らすために今後行う予定がある、もしくは行いたいと思っていること								
		ポイ捨て、不法投棄をしない	マイバッグを持参するなど、レジ袋を受け取らない	行政の分別ルールに従って捨てる	マイボトルを持参するなど、使い捨て容器ができる限り使用しない	スプーン、ストローなど使い捨てのものをできる限り使用しない	路上などに落ちているごみを拾う	リサイクル材や植物由来のプラスチックなどを使った製品を使用する	街中や河川等で行われる清掃活動に参加する	
全体		1,300	743	741	646	499	380	234	208	166
		100.0	57.2	57.0	49.7	38.4	29.2	18.0	16.0	12.8
都市部		477	246	249	213	174	129	87	55	56
		100.0	51.6	52.2	44.7	36.5	27.0	18.2	11.5	11.7
沿岸部		373	230	228	201	146	111	62	67	47
		100.0	61.7	61.1	53.9	39.1	29.8	16.6	18.0	12.6
内陸部		450	267	264	232	179	140	85	86	63
		100.0	59.3	58.7	51.6	39.8	31.1	18.9	19.1	14.0
全体		問21 今後プラスチックごみを減らすための行動をする予定はない								
		家族や友人とプラスチックごみ問題について話をする	SNSやwebなどで検索、発信する	その他	プラスチックごみを減らすための行動をする予定はない					
全体		1,300	84	44	4	164				
		100.0	6.5	3.4	0.3	12.6				
都市部		477	38	18	2	70				
		100.0	8.0	3.8	0.4	14.7				
沿岸部		373	15	7	0	40				
		100.0	4.0	1.9	0.0	10.7				
内陸部		450	31	19	2	54				
		100.0	6.9	4.2	0.4	12.0				

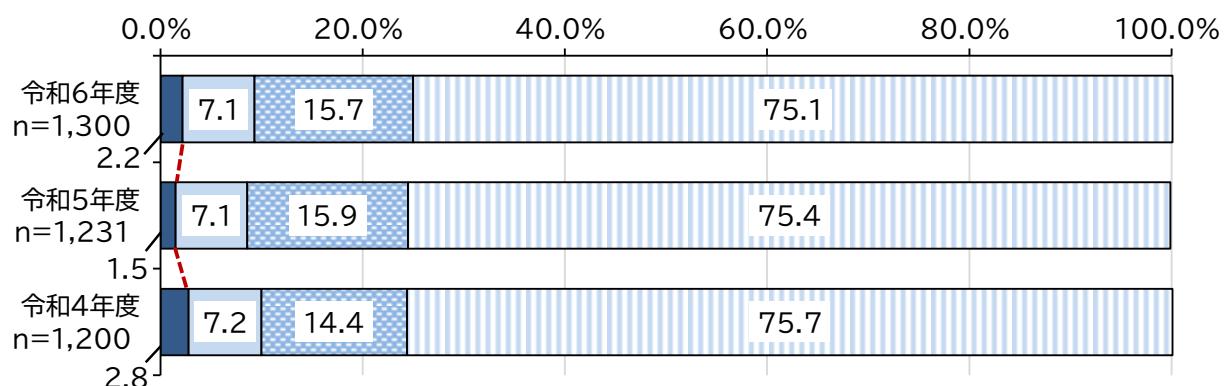
問 21. あなたは下記についてどの程度当てはまりますか。過去1年間の行動に当てはまるものを選択してください。(それぞれひとつずつ選択)

過去1年間の行動について『あてはまる』と回答した人の割合は「(1)パンやおにぎり、アメの包装・ペットボトル・飲料用カップなど、ちょっとしたごみが出たときに、周辺にごみ箱がなかったため、ポイ捨てをしたことがある」で 8.7%、「(2)周囲に人がいないことを確かめてから、その場にごみを放置したことがある」で 9.3%、「(3)車内で発生したごみを車外へポイ捨てしたことがある」で 8.4%となっており、いずれも1割未満となっている。

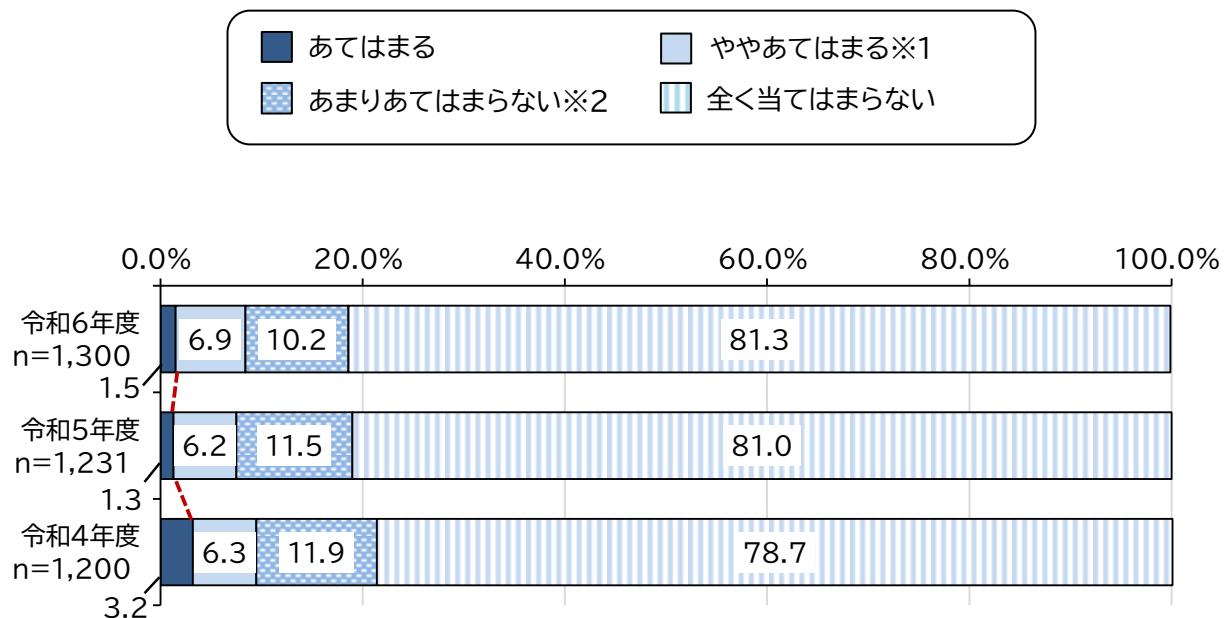
(1)パンやおにぎり、アメの包装・ペットボトル・飲料用カップなど、ちょっとしたごみが出たときに、周辺にごみ箱がなかったため、ポイ捨てをしたことがある



(2)周囲に人がいないことを確かめてから、その場にごみを放置したことがある



(3)車内で発生したごみを車外へポイ捨てしたことがある

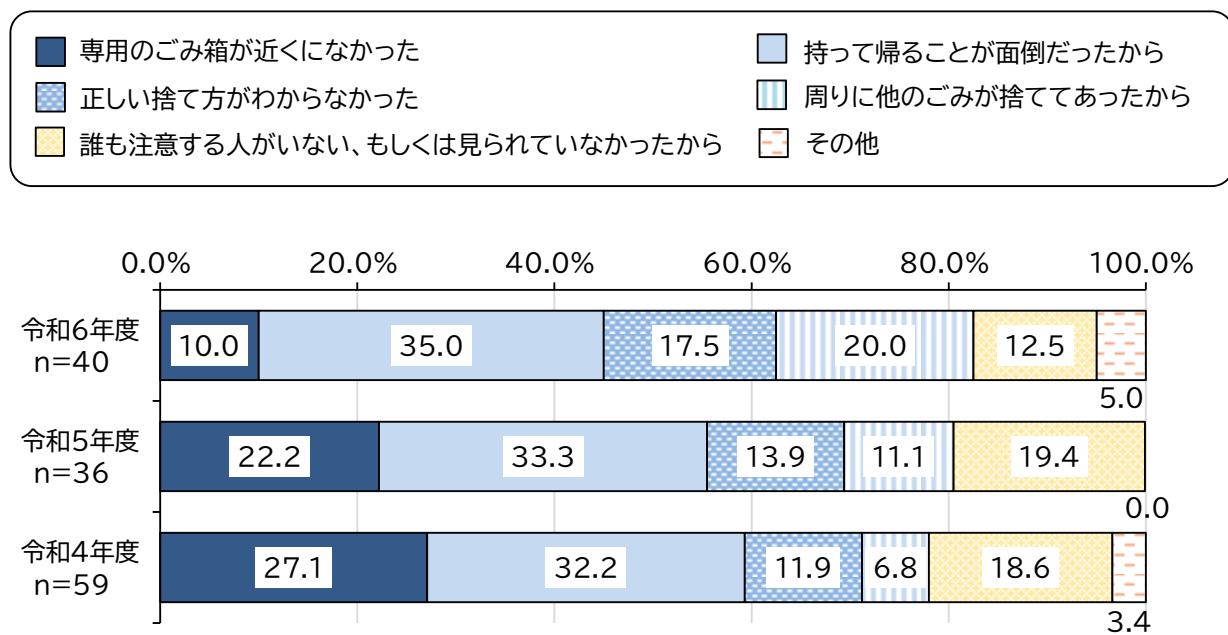


問 22. 前問で「あてはまる」を選んだ理由として、最もあてはまるものをお答え下さい。

(単数回答)

※n=問21でひとつでも「あてはまる」と回答した人

前問で「あてはまる」を選んだ理由として、「持つて帰ることが面倒だったから」と回答した人の割合が35.0%と最も高く、次いで「周りに他のごみが捨ててあったから」(20.0%)、「正しい捨て方がわからなかった」(17.5%)などの順となっている。



4. 食品ロス問題について

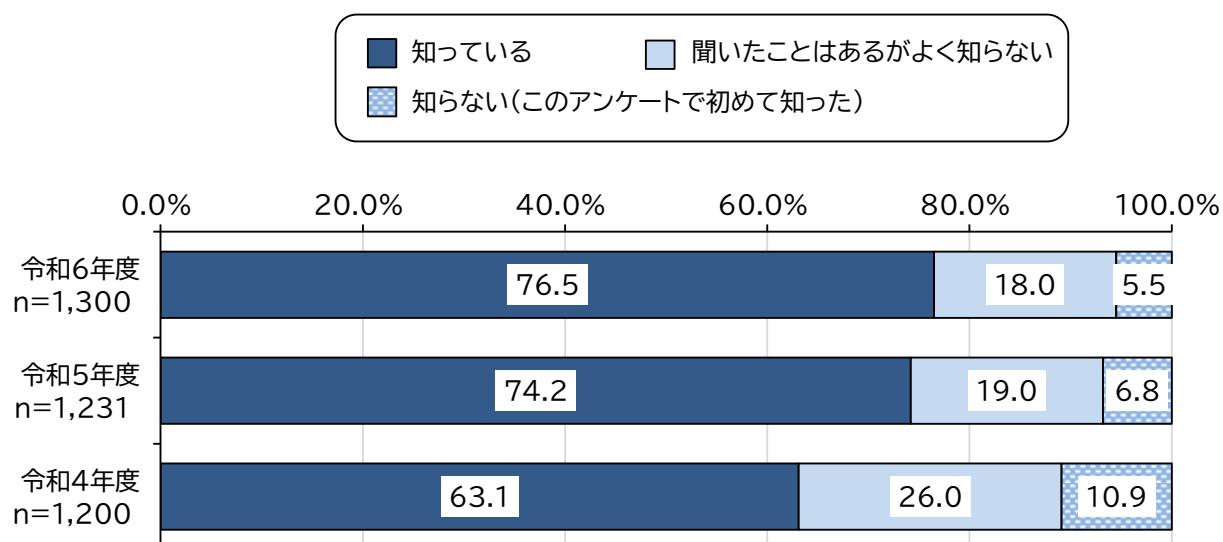
問 23. あなたは下記の項目についてどの程度ご存じですか。(それぞれひとつずつ)

下記の(1)～(6)の項目の認知度について、「知っている」と回答した人の割合は(1)食品ロス問題、(5)賞味期限と消費期限の正しい意味で7割台、(4)食品ロスの削減に繋がる「てまえどり」で6割台、(2)フードバンクの活動で4割台と高くなっている。

一方、「知らない(このアンケートで初めて知った)」と回答した人の割合は(6)「30・10 運動」で7割台と高くなっている。

(1)あなたは食品ロス問題※を知っていますか。

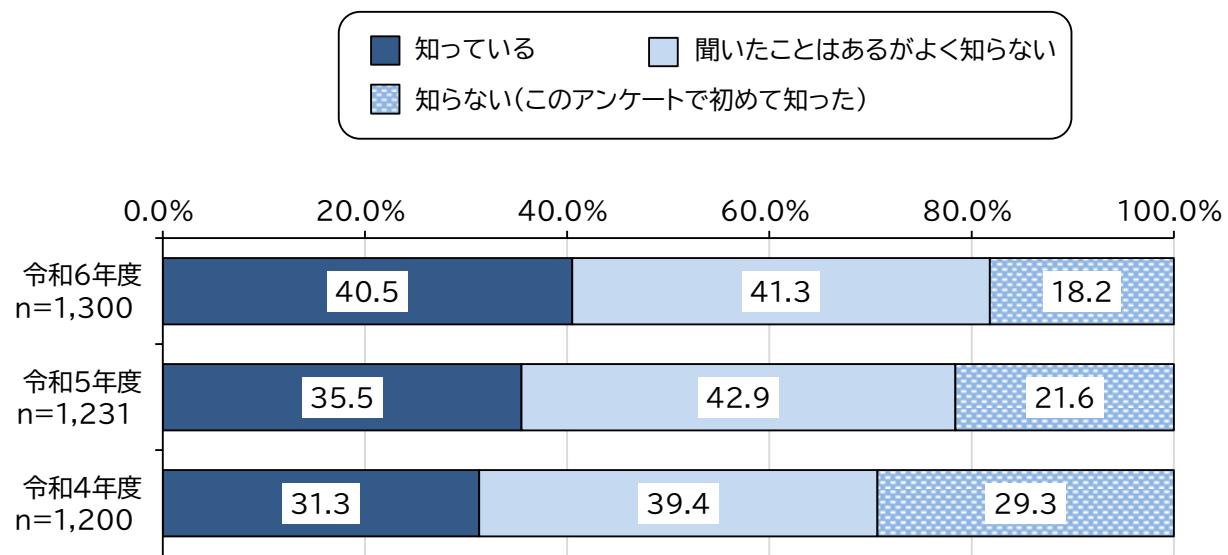
※食品ロス:まだ食べられるのに捨てられている食品



全 体	(1)食品ロス問題		
	知っている	聞いたこと はあるがよ く知らない	知ら ない (このアン ケートで初 めて知っ た)
全 体	1,300	995	234
	100.0	76.5	18.0
			5.5
都市部	477	357	89
	100.0	74.8	18.7
			6.5
沿岸部	373	292	66
	100.0	78.3	17.7
			4.0
内陸部	450	346	79
	100.0	76.9	17.6
			5.6

(2)フードバンク※がどのような活動をしているか知っていますか。

※フードバンク:食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設等へ無料で提供する団体

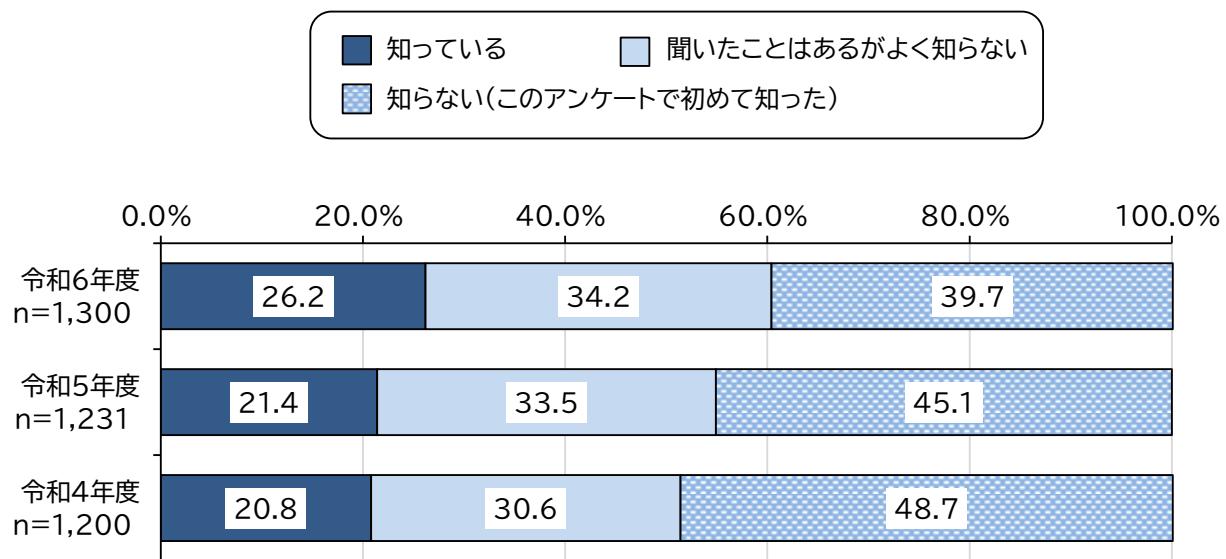


	全体	(2)フードバンクの活動		
		知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない(このアンケートで初めて知った)
全 体	1,300	527 100.0	537 40.5	236 41.3
都市部	477 100.0	189 39.6	189 39.6	99 20.8
沿岸部	373 100.0	159 42.6	151 40.5	63 16.9
内陸部	450 100.0	179 39.8	197 43.8	74 16.4

(3)フードドライブ※がどのような活動か知っていますか。

※フードドライブ:各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉

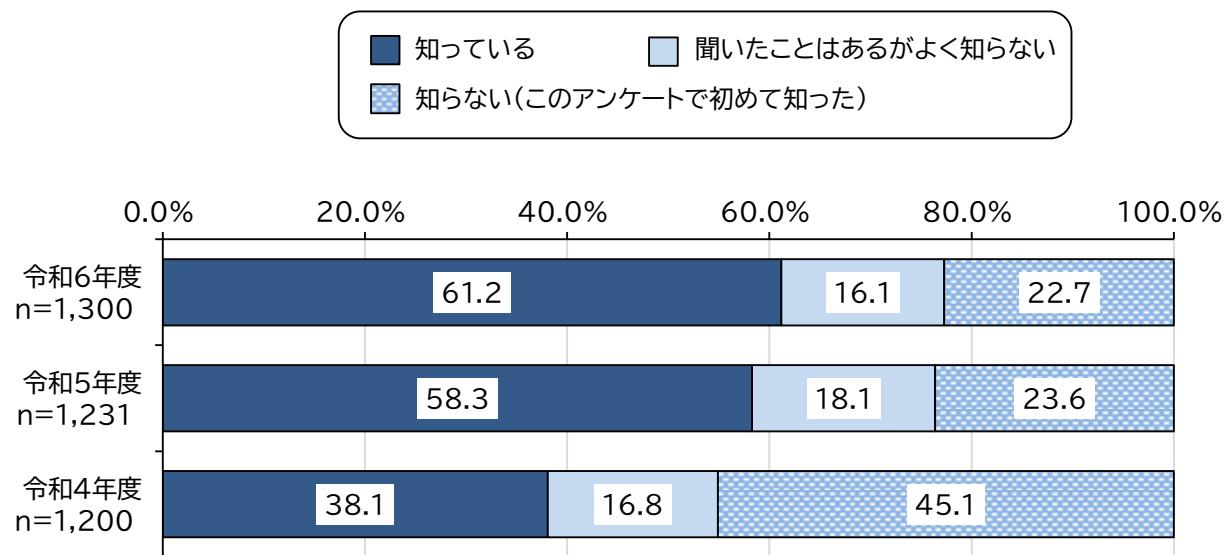
施設・団体などに寄贈する活動



	全体	(3)フードドライブの活動		
		知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない(このアンケートで初めて知った)
全 体	1,300	340	444	516
	100.0	26.2	34.2	39.7
都市部	477	117	144	216
	100.0	24.5	30.2	45.3
沿岸部	373	88	137	148
	100.0	23.6	36.7	39.7
内陸部	450	135	163	152
	100.0	30.0	36.2	33.8

(4) 食品ロスの削減に繋がる「てまえどり*」を知っていますか。

*てまえどり:商品棚の手前にある商品を選ぶこと

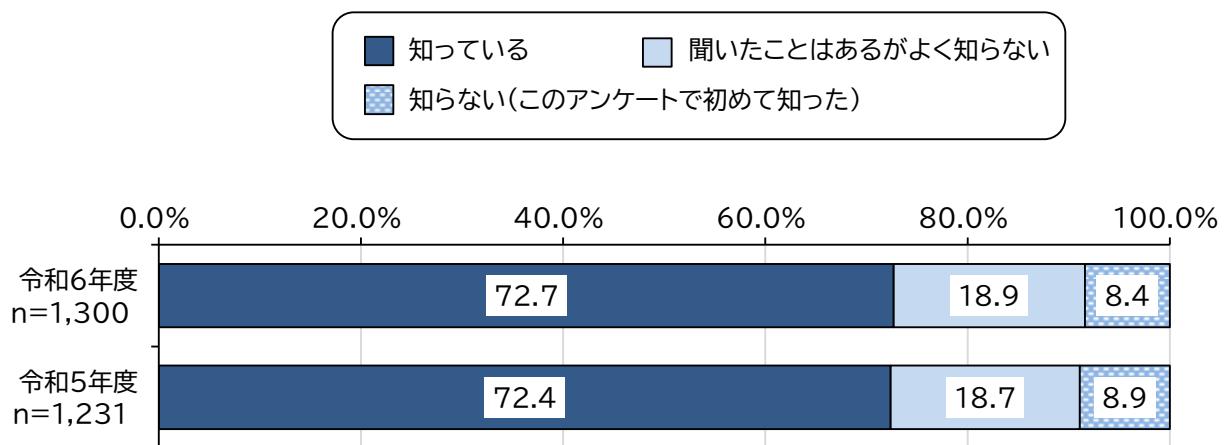


	全体	(4) てまえどり		
		知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない(このアンケートで初めて知った)
全 体		1,300	796	209
全 体		100.0	61.2	16.1
都市部		477	285	73
都市部		100.0	59.7	15.3
沿岸部		373	221	64
沿岸部		100.0	59.2	17.2
内陸部		450	290	72
内陸部		100.0	64.4	16.0
				24.9
				88
				23.6
				88
				19.6

(5)賞味期限と消費期限※の意味を正しく知っていますか。

※賞味期限:おいしく食べられる期限 ・ 消費期限:安全に食べられる期限

●令和4年度は調査なし

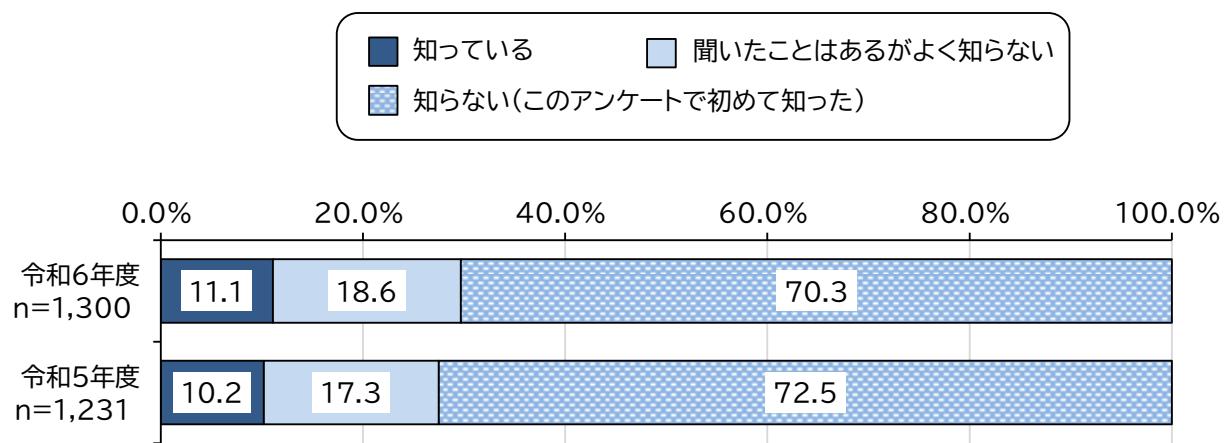


	全 体	(5)賞味期限と消費期限の正しい意味		
		知っている	聞いたこと はあるがよ く知らない	知らない (このアン ケートで初 めて知っ た)
全 体	1,300	945	246	109
	100.0	72.7	18.9	8.4
都市部	477	333	93	51
	100.0	69.8	19.5	10.7
沿岸部	373	284	64	25
	100.0	76.1	17.2	6.7
内陸部	450	328	89	33
	100.0	72.9	19.8	7.3

(6)あなたは「30・10運動」※を知っていますか。

※30・10運動:会食時に最初の30分と最後の10分は料理を楽しみ、食べ残しを減らしましょうという取組

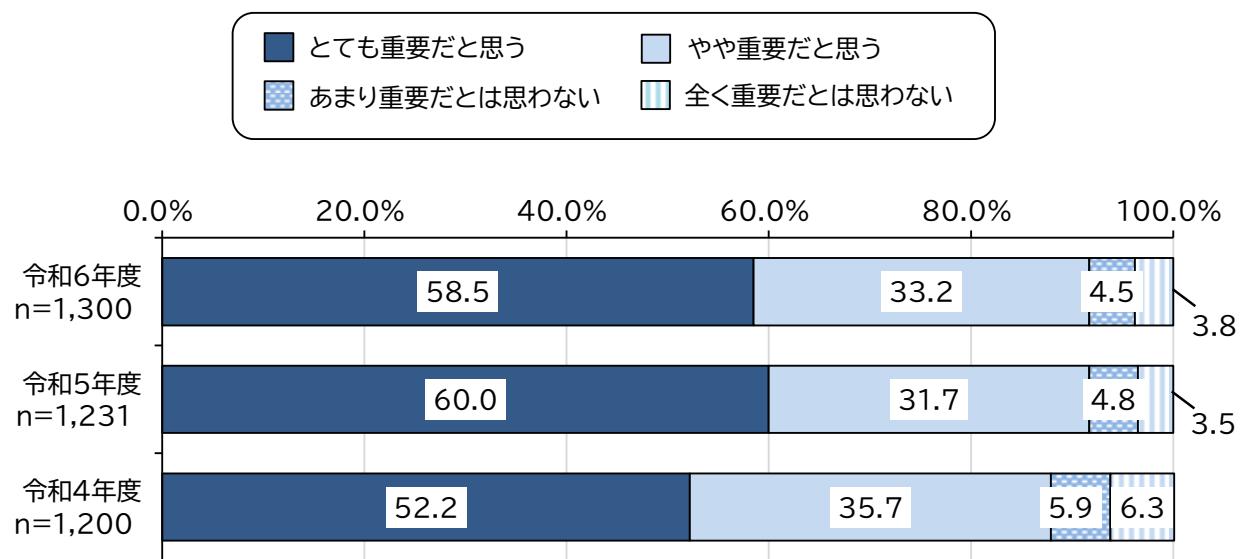
●令和4年度は調査なし



	全 体	(6)「30・10運動」		
		知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない(このアンケートで初めて知った)
全 体	1,300	144	242	914
	100.0	11.1	18.6	70.3
都市部	477	57	79	341
	100.0	11.9	16.6	71.5
沿岸部	373	34	82	257
	100.0	9.1	22.0	68.9
内陸部	450	53	81	316
	100.0	11.8	18.0	70.2

問 24. あなたは食品ロス問題に対処することを重要だと考えますか。(単数回答)

食品ロス問題に対処することの重要性について、『重要だと思う』(「とても重要だと思う」と「やや重要だと思う」を合わせた割合)と回答した人の割合が 91.7%、『重要だと思わない』(「全く重要だとは思わない」と「あまり重要だとは思わない」を合わせた割合)と回答した人の割合が 8.3%となっている。

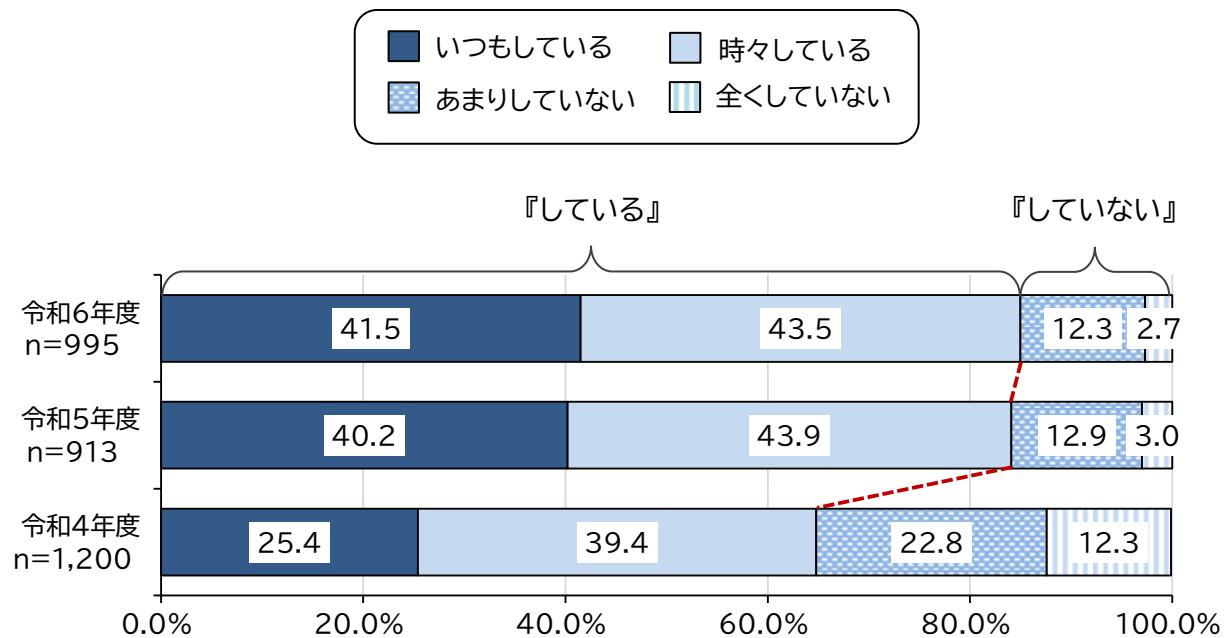


問 25. あなたは食品ロスの削減にどのくらいの頻度で取り組んでいますか。(単数回答)

※n=問24で食品ロス問題について「知っている」と回答した人(令和5年度・令和6年度)

(令和4年度調査では全員に質問)

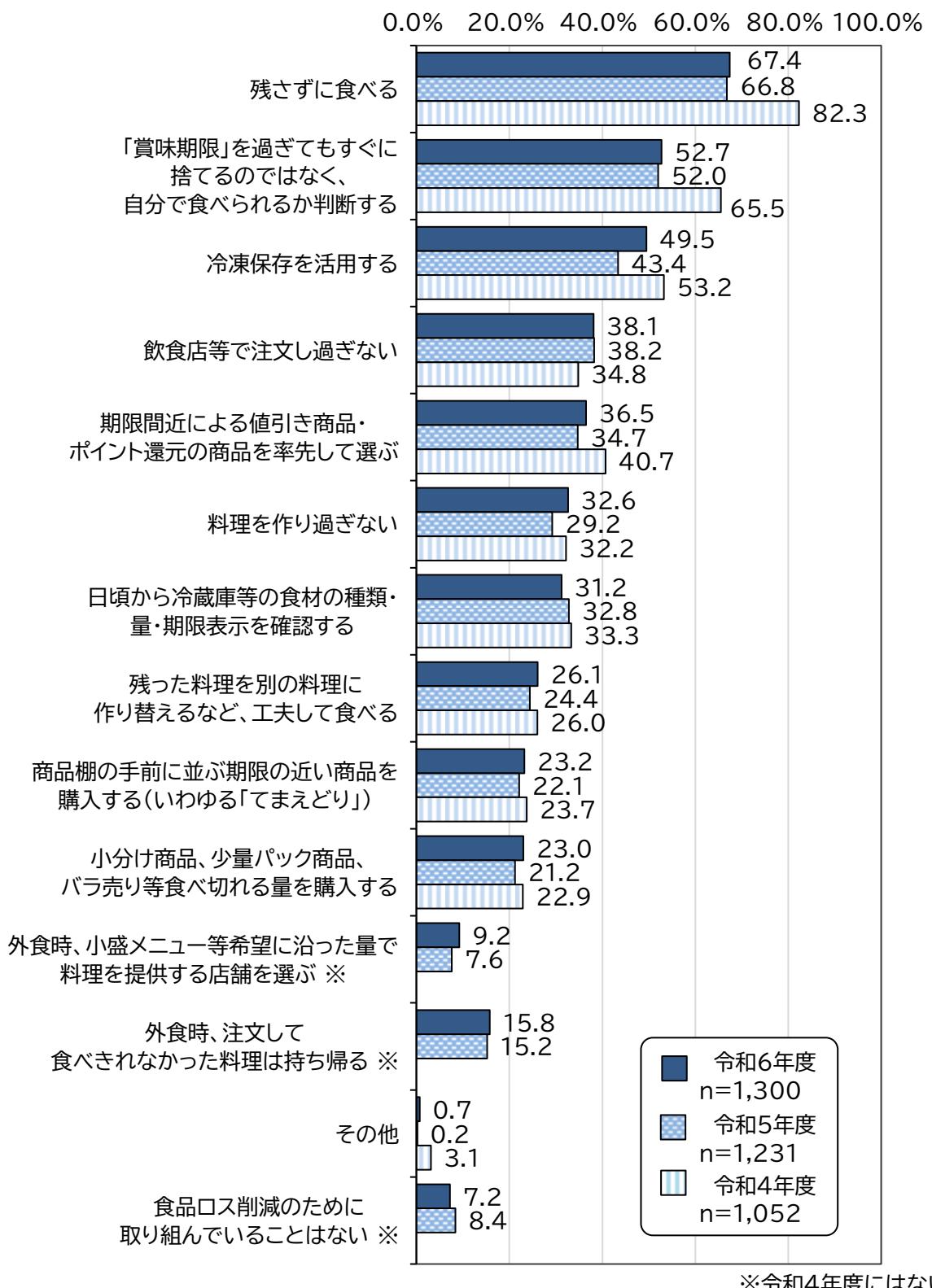
食品ロス削減への取組の頻度について、『している』(「いつもしている」と「時々している」を合わせた割合)と回答した人の割合は 85.0%、『していない』(「全くしていない」と「あまりしていない」を合わせた割合)と回答した人の割合は 15.0%となった。



問 26. あなたは「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。(複数回答)

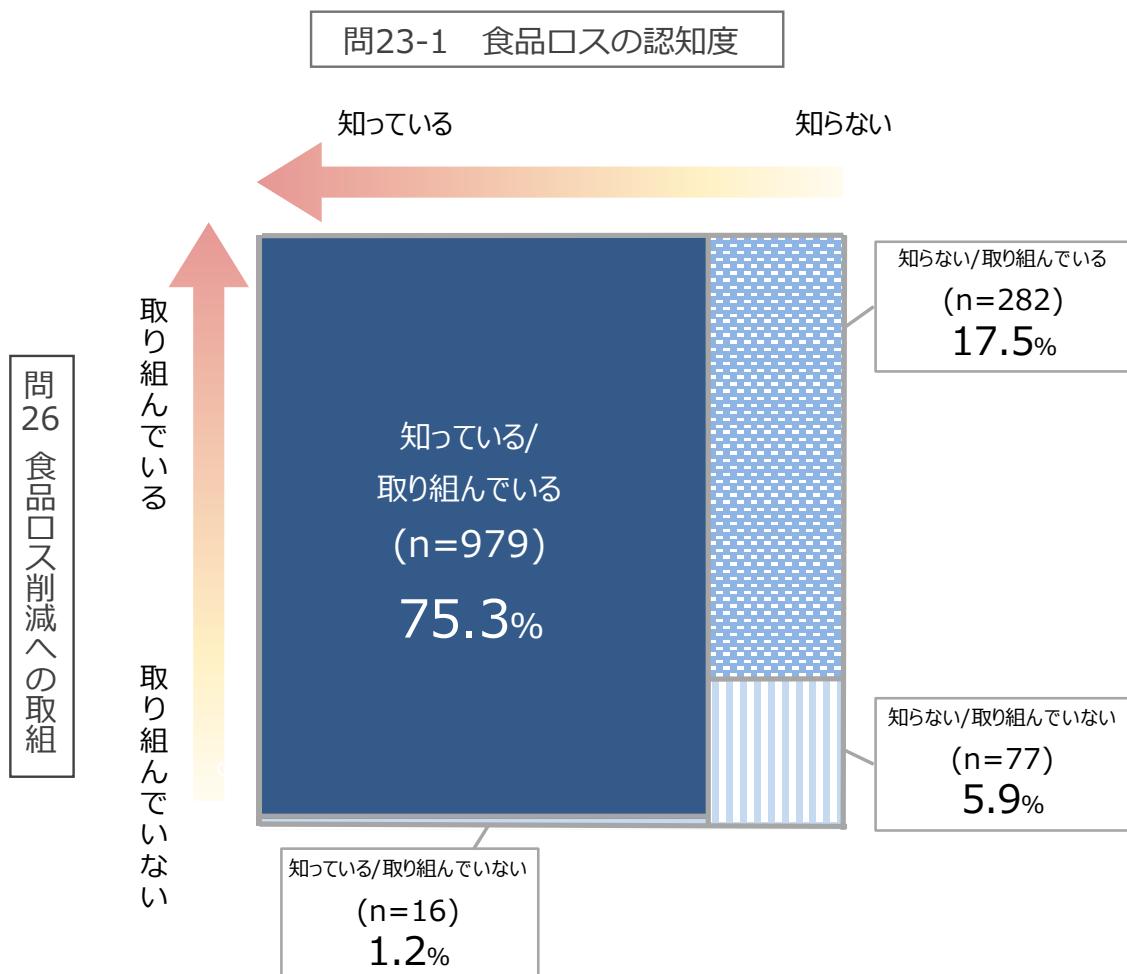
※令和4年度調査では、食品ロス削減の取組を「全くしていない」と回答した以外の人

食品ロスを減らすために取り組んでいることについて、「残さずに食べる」と回答した人の割合が67.4%と最も高く、次いで「『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」(52.7%)、「冷凍保存を活用する」(49.5%)などの順となっている。



【参考】食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合

食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合について、「食品ロス問題について知っており削減に取り組んでいる消費者」が 75.3%、「食品ロス問題について知っているが削減に取り組んでいない消費者」が 1.2%、「食品ロス問題について知らないが削減に取り組んでいる消費者」が 17.5%、「食品ロス問題について知らないし削減にも取り組んでいない消費者」が 5.9%となっている。



※1 「知っている」とは、問 23-1で食品ロス問題について「知っている」と回答した人

※2 「知らない」とは、問 23-1で「聞いたことはあるがよく知らない」または「知らない(このアンケートで初めて知った)」と回答した人

※3 「取り組んでいる」とは、問 26 で食品ロス削減のためにいざれかの取組をしていると回答した人

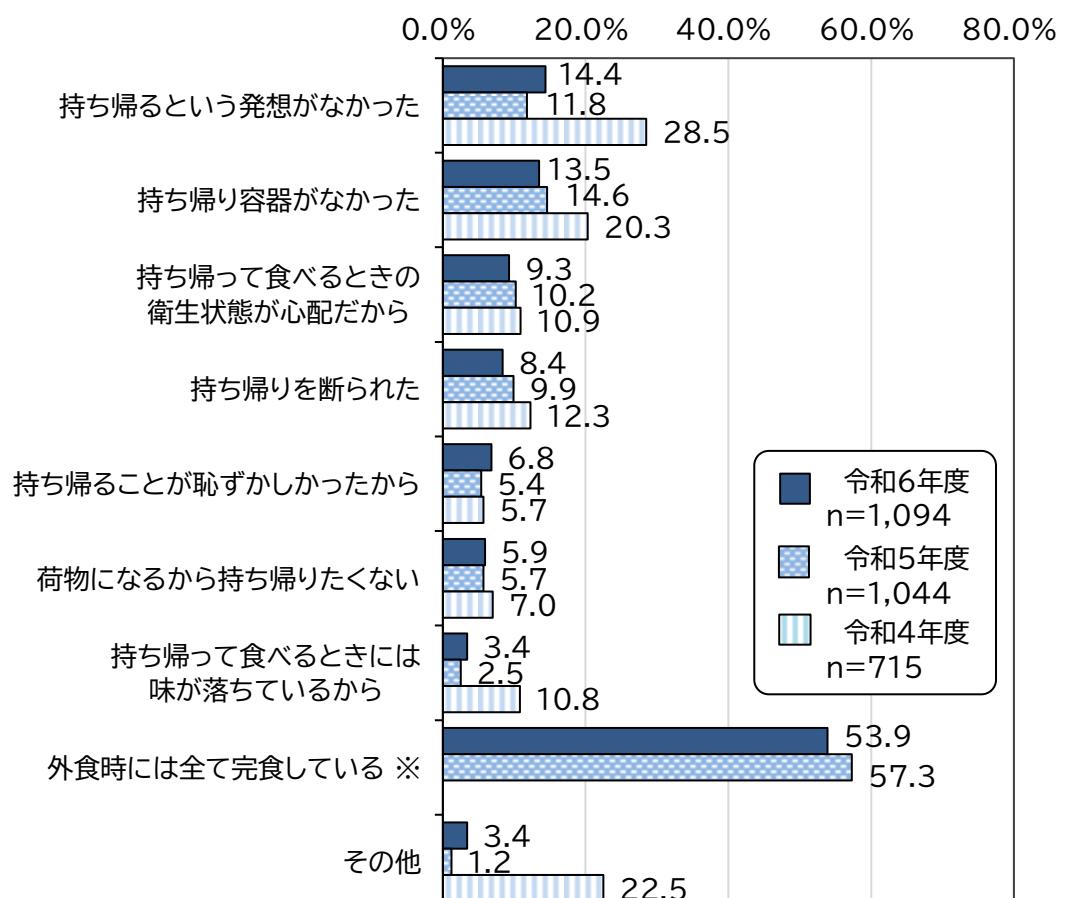
※4 「取り組んでいない」とは、問 26 で「食品ロス削減のために取り組んでいることはない」と回答した人

問27. あなたが、外食時に食べきれなかった料理を持ち帰りしなかった理由は何ですか。

(複数回答)

※n=問26で「外食時、注文して食べきれなかった料理は持ち帰る」を選択しなかった人

外食時に食べきれなかった料理を持ち帰りしなかった理由について、「外食時には全て完食している」と回答した人の割合が 53.9%と最も高く、次いで「持ち帰るという発想がなかった」(14.4%)、「持ち帰り容器がなかった」(13.5%)などの順となっている。

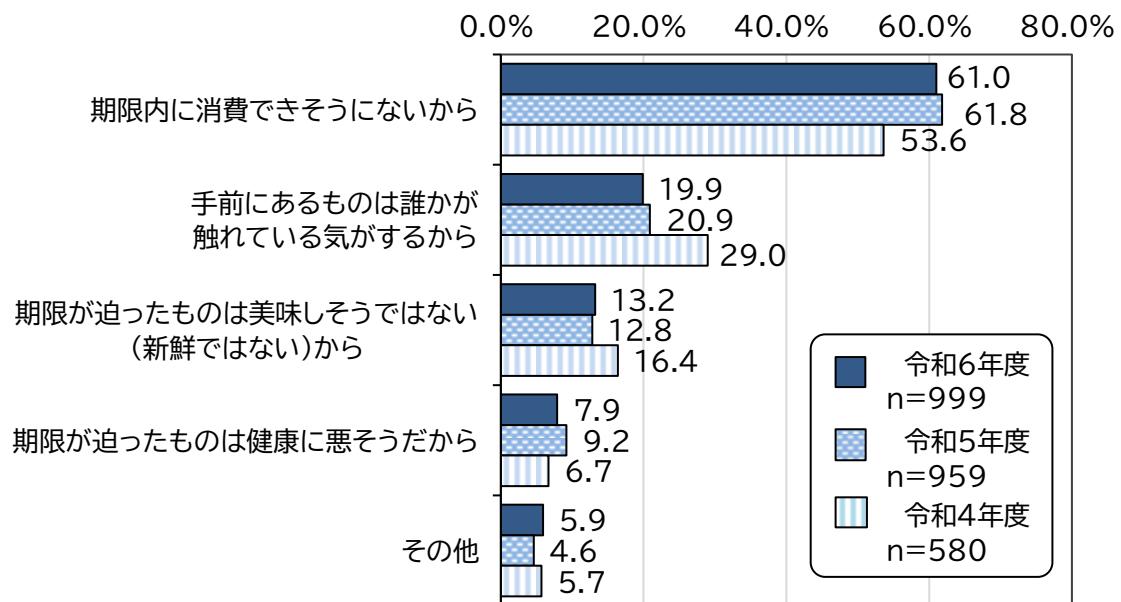


※令和4年度にはない選択肢

問 28. あなたが、「てまえどり」をしない理由は何ですか。(複数回答)

※n=問26で「商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する(いわゆる「てまえどり」)」を選択しなかった人

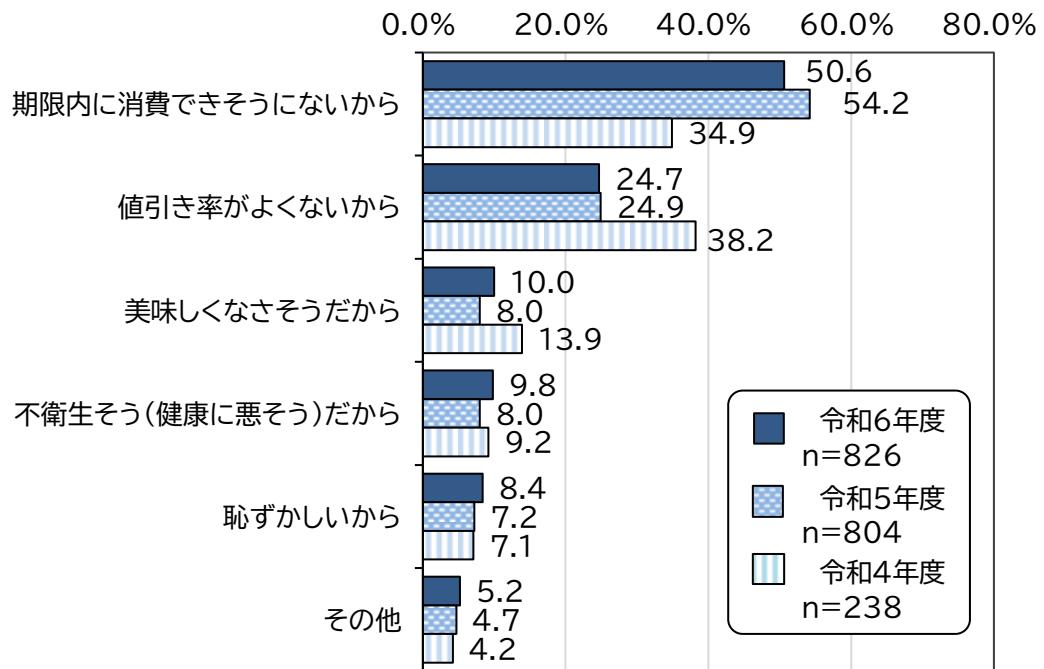
「てまえどり」をしない理由について、「期限内に消費できそうにないから」と回答した人の割合が6割を占めた。



問 29. あなたが、値引き商品を購入しない理由は何ですか。(複数回答)

※n=問26 で「期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ」を選択しなかった人

値引き商品を購入しない理由について、「期限内に消費できそうにないから」と回答した人の割合が50.6%と最も高く、次いで「値引き率がよくないから」(24.7%)が続いている。



5. 環境配慮商品について

問 30. 岡山県工コ製品※など、あなたが環境にやさしい商品を購入するきっかけになるのはどのような要素ですか。(複数回答)

※岡山県工コ製品:県内で製造・販売されているリサイクル製品で、県が定める認定基準を満たした製品のこと

環境にやさしい商品を購入するきっかけになる要素について、「値引きやキャンペーンなどがある場合」と回答した人の割合が 41.5%と最も高く、次いで「他の商品と同程度の価格である場合」(27.5%)、「商品の品質や性能が優れている場合」(27.2%)などの順となっている。

